

令和2年 第19回帯広市教育委員会会議録

1. 令和2年 8月 6日 木曜日 9時20分 ~ 17時
帯広市教育委員会会議を帯広市役所 10階第5B会議室に招集する。

2. 本日の出席者

教 育 長	池 原 佳 一
教 育 委 員	田 中 厚 一
教 育 委 員	藤 澤 郁 美
教 育 委 員	佐々木 しゅり
教 育 委 員	塩野谷 和 男

- | | |
|--------|------------------------------------|
| 日程第 01 | 会議録署名委員の指名について |
| 日程第 02 | 議案第 50 号 小学校用教科用図書の採択について |
| 日程第 03 | 議案第 52 号 高等学校用教科用図書の採択について【非公開】 |
| 日程第 04 | 議案第 51 号 中学校用教科用図書の採択について【非公開】 |
| 日程第 05 | 報告第 18 号 教科用図書の採択に係る情報の公表について【非公開】 |
| | その他 |

池原教育長

ただ今から、令和2年第19回帯広市教育委員会会議を開会いたします。

出席委員は全員であります。

会議は成立しております。

ここで諸般の報告をいたします。

(佐藤企画総務課長 報告)

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は田中委員及び塩野谷委員を指名いたします。

日程第2、議案第50号、小学校用教科用図書の採択についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

広瀬 部長

議案第50号、小学校用教科用図書の採択についてご説明いたします。議案書は1ページでございます。本案は帯広市立学校管理規則第41条第1項の規定に基づき、令和3年度に市内小学校で使用する教科用図書を採択しようとするものでございます。小学校用教科用図書につきましては、昨年度に採択しておりますので、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第14条の規定により、令和2年度と同一の教科用図書を使用することとして、採択をお願いするものでございます。以上ご審議のほどよろしく願います。

池原教育長

これから質疑に入ります。

各 委 員

ありません。

池原教育長

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

お諮りいたします。

議案第50号、小学校用教科用図書の採択については、原案のとおり、決定することにご異議ありませんか。

各 委 員

異議なし。

池原教育長

ご異議なしと認め、議案第50号は決定されました。

ここで会議の進め方についてお諮りいたします。

次の日程第3、日程第4及び日程第5の案件については、帯広市教育委員会会議規則第16条第1項第5号により、非公開にしたいと存じます。

これにご異議ありませんか。

各 委 員

異議なし。

池原教育長

ご異議なしと認め、そのとおり取り扱います。

これより会議を非公開といたします。

日程第3、議案第52号、高等学校用教科用図書の採択についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

広瀬 部長

議案第52号、高等学校用教科用図書の採択についてご説明いた

します。議案書は5ページでございます。本件は帯広市立学校管理規則第41条第2項の規定により、令和3年度に帯広南商業高等学校で使用する教科用図書につきまして、学校長が文部科学省の高等学校用教科書目録の中から選定し、教育委員会にお諮りするものであります。議案書7ページ以降に使用教科用図書を掲載しておりますが、令和3年度は計35の教科書を選定いたしております。このうち今年度からの変更点についてであります。6つの教科用図書を変更選定いたしました。教科科目としては、初めに地理歴史の「日本史A」、次に芸術の「音楽Ⅰ」及び「音楽Ⅱ」、並びに「美術Ⅰ」及び「美術Ⅱ」、最後に外国語の「英語表現Ⅰ」を身近な内容が取り上げられ、生徒の興味・関心に配慮されていること。自主的・自発的な学習ができるよう構成されていること。また、図表や写真、資料等の配置、選択及び分量が適切であることなどという観点から変更いたしております。選定のプロセスにつきましては、担当教諭による教科会議をはじめ、教科主任によるカリキュラム委員会、教職員による職員会議を経て、校長が選定を行ったものでございます。以上よろしくご審議いただきますようお願いいたします。

池原教育長
各委員
池原教育長

これから質疑に入ります。

異議なし。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

お諮りいたします。議案第52号、高等学校用教科用図書の採択については、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

各委員
池原教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、議案第52号は決定されました。

日程第4、議案第51号、中学校用教科用図書の採択についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

広瀬 部長

議案第51号、中学校用教科用図書の採択についてご説明いたします。議案書は3ページでございます。本案は帯広市立学校管理規則第41条第1項の規定に基づき、令和3年度に市内中学校で使用する教科用図書を採択していただくこととさせていただきます。昨年度の文部科学省の検定を経た教科用図書につきましては、去る6月1日に帯広市教科用図書選定委員会に諮問し、その後、調査研究を行っていただき、7月22日に答申があったところでございます。本日、委員の皆様には、この答申を踏まえて、種目ごとに1種の教科用図書を採択していただくものでございます。なお、特別支援学級の教科用図書につきましては、学校教育法附則第9条により、文部科学大臣から送付される中学校用教科書目録に搭載されている以外の教科用図書を使用することができるものと規定されております。このため帯広市におきましては、これまで知的障害学級における特

別の教育課程に対応するため、特別支援学校用（小・中学部）教科書目録に唯一搭載されています。文部科学省著作の教科用図書を使用してきたことから、令和2年度と同様の文部科学省著作の教科用図書を採択していただくものでございます。以上ご審議のほどよろしくお願いいたします。

池原教育長

これから、令和3年度に使用する中学校用教科用図書の採択にかかる審議を種目ごとに行います。

最初に国語の審議を行います。

国語につきましては、4種から採択を行います。

それでは、各委員からご感想やご意見を自由に述べていただきたいと思えます。藤澤委員からお願いします。

藤澤 委員

それでは、私から述べさせていただきます。結論から申しますと、光村図書を選ばせていただきました。その理由については、中学校生活の不安をなくすために、1年生の第1教材に入る前に小学校の既習事項を確認できる「言葉に出会うために」を設けており、また、中学校での学習を進めていく中で、いつでも戻って基礎・基本を確認できる場として活用できる工夫がされていると思えました。巻頭の「学習の見通しをもとう」で、1年間の国語学習の全体像を見渡すことができ、それぞれの言語活動を通して、どのような資質、能力を身につけるのかが明確に示されていると思えました。また、同じく巻頭に「思考の地図」を掲載し、様々な場面で活用できる思考ツールや情報の可視化の方法を示したり、「学習の窓」に学習を通して身につける汎用的な資質、能力を示したりするなど、主体的に学習に取り組めるよう工夫がされていました。巻末には学習を広げる「学習の窓」の一覧のほか、2年生では「インタビューをする」「郷土ゆかりの作家・作品」など、そこから他教科や地域学習に広げて活用できる資料が充実していました。「学習を振り返ろう」では1年間で身につけた力を確認し、他教科や日常に生かすために、学年の最後に各領域の問題に取り組む場を設けていました。読書に対する意欲を高め、読書生活を広げていけるように、多様なジャンルの作品・文章、「読書活動、読書を楽しむ」「読書案内、本の世界を広げよう」のコラムが設けられていました。思考力、判断力、表現力などの各領域において、話すこと、聞くこと、書くこと、読むこと、それぞれに合った教材を使用し、学習過程がわかるように示され、また、学習過程の中で自分の考えを形成し、それを主体的に他者と共有して取り組み、学習できる工夫がされていると思えました。語彙力を高める工夫として、各学年の巻頭に「続けてみよう」を設け、年間を通して語彙を増やしたり、言葉や情報に対する感覚を習慣化できるようになっていたり、巻末資料「語彙を豊かに」では、見方や考え方を表す言葉や慣用句、ことわざ、四字熟語などを数多く紹

介し、自分の言葉として使えるような配慮がなされていました。以上の理由で光村図書を選びましたが、教育出版と随分悩みました。言葉の力を国語科において育てることを目指して編集されている教育出版は、授業が進みやすいのではないかと思いましたが、小学校で光村図書を使用していることもあり、読書に対する意欲を高め、語彙力がつくように工夫されていて、全体的な国語の力が育まれるのは光村図書ではないかと思い、光村図書を選ばせていただきました。

池原教育長
塩野谷委員

ありがとうございます。塩野谷委員お願いします。

私は結論から言いますと、今まで使用してきた教育出版を選びました。採択理由としては、1点目は巻頭に「言葉の地図」を掲載し、3年間の流れを教材ごとの指導事項や言語活動を総覧できる一覧を設け、自ら学習を振り返る観点を示していること。2点目は持続可能な社会の実現に向けて、課題を発見する活動や自分の考えを述べる活動など、主体的・対話的で深い学びの学習に取り組めるような工夫があること。3点目に、「学びナビ」は内容をより深く読んだり、学習内容を認識したりするための手立てを示しながら見通しを持って学習を進められるよう設定されていること。また、「広がる本の世界」を設け、多種多様な本を紹介し読書へ誘う工夫があること。最後に、他社でも共通していましたが、1学年は2・3学年より文字を大きく、行間を広くするなど、成長段階に応じた配慮があることなどの理由から、教育出版を推薦したいと思います。

池原教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員お願いします。

私も藤澤委員と同じく教育出版と光村図書に絞って検討し、迷いましたが、結論から申し上げますと、光村図書を推薦したいと思います。全体として読み通した印象は少し難しいと思いましたが、秀逸だと思ったのは、全学年を通して「思考の地図」を掲載し、「思考のレッスン」のコーナーと合わせて、場面や目的に応じた様々な思考法を提示しているところは特筆すべき点だと思いました。さらに各学年の発達段階に応じて思考法も複雑に発展していて、生徒が無理なく身につけられるよう工夫されていると思いました。また、巻末の「文学的な文章を読むために」と「説明的な文章を読むために」というコーナーでは、文章を読み解くための基本的な観点をまとめていて、さらに「情報整理の方法」「情報と情報との関係」「豊かに表現するために」というコーナーでは、文章から得た情報を正確に把握し整理した上で、他者に正確に伝えるための言語活動能力を高める工夫がされているところは、「思考の地図」からつながりを持って良くできていると思いました。全体として、文章からの情報の読み取り方、分析の仕方、プレゼンテーションの方法が各学年の発達段階に応じて、非常に緻密に系統立てて示されているところは他に

はない特徴だと思いました。それから、正確な言葉遣いや文法を確実に習得するための「文法への扉」や、文章の構成を学び、書く力を高める「書く」コーナーも秀逸だと思いました。古典や漢詩は音読により独特のリズムを味わい、各時代背景や生活の風俗や背後の物語を楽しみながら無理なく親しめるように図られているところも良いと思いました。最初に申し上げたとおり、少し難しいとも思いましたが、思考の方法の提示や情報を読み解く力、プレゼンテーションする力を養うという点で、ぜひ、これからの子どもたちに学んでほしいという思いを強く持ちましたので、光村図書を推薦したいと思います。

池原教育長
田中 委員

ありがとうございます。田中委員お願いします。

私も教育出版と光村図書に絞ってかなり悩みました。帯広では長年にわたって採択されている教育出版に関しては、しっかりした定評のある教科書だと思います。バラエティに富んでいて、1つ1つの教材に対して、しっかりとまじめに取り組んでいる印象を持っています。特に主体的な学びに関して、積極的に教材を構成し配列していると考えており、塩野谷委員が言われたことは至極もったもだと思いました。一方で光村図書も捨てがたく、結論から言いますと、光村図書を推薦したいと思います。理由は、今は生徒がマニュアルのような、閉塞的な思考になることを極力避けたいという方針が各教科書にあるように思います。科目の壁を取り払うようなイメージがすべての教科書にわたってあるような感じがしました。特に光村図書も前回に比べてより多岐にわたっている印象を持ちました。佐々木委員が言われたように、全体の教材の難易度は少し高い気がしましたが、重複を避ける形で申し上げますと、光村図書は読書活動がかなり充実していると思いました。現代の若い人たちが積極的に読む書物も多く取り入れている印象を持ちましたし、同時に昔ながらの古典も随所にちりばめられておりました。また、読書感想文の書き方を明確に示しているところは新鮮に感じました。推敲の仕方というか、文章の書き方についても、かなり押さえられており、生徒にとってはありがたいだろうと思いました。それから、2年生では「星の王子さま」を池澤夏樹と内藤濯の翻訳の読み比べを例に出しながら、言葉の不思議さと魅力に迫っていたと思います。3年生では、リオの国際会議でウルグアイの「世界で一番貧しい大統領のスピーチ」の記載があり、今回、教科書採択のテーマになるであろう、「持続する社会」に対する課題を投げかけているような気がいたしました。また、文学年表は各社にありますけれど、平成まで入っていたのは、確か光村図書しかなかったと思います。全体的に相当バラエティに富んだ形で作りこんでいる印象を受けました。最後に物語や小説の読解に関して、今日的な文学研究の解釈の成果をよ

り出しているのは、間違いなく光村図書だと思いました。今、国語に関しては、特に高校国語では古典や小説などはいらぬという時代の風潮にあって、ある意味逆行しているという印象もないわけではありませんが、非常に正攻法で進めているという印象を持ちました。先に小学校で光村図書を採択しているということも配慮の上、光村図書を推薦したいと思います。

池原教育長

ありがとうございます。

最後に私からですが、4社とも生徒が自分の考えを持ち、それを自分なりに説明し、述べる活動により相手意識や目的意識を明確にする観点では同じであると感じました。話し合う活動では東京書籍が自分や周りの体験から話し合いの話題を決め、共通点を見つけて分類していく手法をとっているのに対して、三省堂は資料を読んでそこから話題を設定し考え方をまとめている印象を受けました。光村図書については、話し合いの話題を決め、その中の言葉の意味を共有し、話し合いの目的を明確にしている印象を受けました。教育出版は話し合う言葉を決めて、その中で言葉の定義を出し合い、意見を整理し、感想や考え方をまとめているといった印象です。そうした点で光村図書と教育出版を他より高く評価しましたが、3年生の話し合いの活動で、教育出版はこれまで自分が書いてきた作品、例えば、入学に当たっての抱負、様々な行事での感想文などを保管しておき、編集して作品集を作り、自分自身を振り返り、将来を展望する活動が掲載されており、評価できるものであります。実際にそこまで行うことは現実的には難しいのではないかと思います。一方、光村図書は印象に残った学習をもとに資料などを編集して、発表会を行うなどの取り組みが掲載されており、より実効性のあるものと考え、最終的には光村図書が良いと思いました。

各委員のご発言を伺っておりますと、国語につきましては、光村図書というご意見が多いと思われまます。読書活動の推進を評価することについては共通していると思われまます。アプローチが異なることで評価が分かれたような気がいたします。塩野谷委員は他の委員のご意見をお聞きになっていかがでしょうか。

塩野谷委員

1社に絞るのはなかなか難しいです。光村図書は内容が少し難しい感じもしましたが、小学校で採択しているので光村図書でも良いという気もします。どうしても教育出版でなくてはだめというわけではなく、継続性を考えて教育出版を推薦しました。多数のご意見の光村図書で異論はございません。

池原教育長

それでは、国語の採択すべき教科書は光村図書というご意見で全員一致しました。

各委員

光村図書を採択することにご異議ありませんか。
異議なし。

池原教育長

ご異議がないようですので、採択理由を確認するため暫時休憩いたします。

(休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

国語の採択につきましては、『巻頭の「続けてみよう」では、年間を通して心に残る言葉や出来事などを書き留めるようになっている。また、巻末資料の「語彙を豊かに」では、見方や考え方を表す言葉や慣用句、ことわざなどを数多く紹介したりするなど、語彙力を高める工夫がされていること。「思考の地図」では、様々な場面で活用できる思考ツールや情報の可視化の方法を示すなど、主体的に学習に取り組めるような工夫がされていること。発表会を行うなどの取り組みが掲載されており、情報の読み取り方、分析の仕方、プレゼンテーションの方法が、発達段階に応じて系統立てて示され、主体的に学習に取り組めるよう工夫されていること。読み物教材として、昔ながらの名作の掲載や、多くの書物が紹介されているなど、生徒の読書活動が積極的に推し進められるような工夫がされていること。巻末の「文学的な文章を読むために」「説明的な文章を読むために」では、文章を読み解くための基本的な観点をまとめており、「情報整理の方法」「情報と情報との関係」「豊かに表現するために」では、得た情報を把握し、整理した上で、他者に正確に伝えるための言語能力を高める工夫がされていること。』などの理由により、発行者、光村図書を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
池原教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

次に書写の審議を行います。

書写につきましては、4種から採択を行います。

それでは、各委員からご発言願います。藤澤委員からお願いいたします。

藤澤 委員

それでは、私から述べさせていただきます。国語は光村図書が採択されたので、その関係からも光村図書を推薦します。最近パソコンやスマートフォンの普及により、文字を書くという作業が減っている中、文字本来の役割を学習することは大切で、書写の授業は重要だと思われま。巻頭に小学校での学習内容をまとめた「学習のはじめに」では、姿勢・筆記具の持ち方、字形の整え方を設けて、小学校からの円滑な接続を図るとともに、基礎・基本を活用する中で定着できるような配慮がなされていました。同じく巻頭に「学習の進め方」を写真でわかりやすく示されていて、①考えよう②確かめよう③生かそうという展開が一目でわかる構成となっていたのが良かったと思います。綴じ込みの「書写ブック」に硬筆練習帳がつ

いており、毛筆の教材文字と同じ学習要素を持つ硬筆課題を豊富に設定し、必要に応じて既習事項を確認しながら、書写の基礎・基本を身につけられる工夫がされているのも良いと思いました。QRコードのある教材では動画コンテンツを閲覧することができ、「用具の準備、片付け」では、スムーズに用具の出し入れを行う手順がわかりやすく解説されていました。学習したことを確かめることができる「書写テストに挑戦しよう」や巻末の日常生活に生かす書式を整理して「日常に役立つ書式」には、手紙やはがきの書き方、入学願書の書き方を掲載するなど、主体的に学習に取り組む工夫がされていました。「枕草子」「おくのほそ道」など、国語科と関連を図った教材を掲載し、「全国の文字マップ」では、北海道の「BOYS BE AMBITIOUS」の石碑の写真を掲載するなど、生徒の学習する意欲を高める工夫がされていると思いました。きれいに美しく文字を書くだけでなく、文字の歴史、文字文化の豊かさも理解し、書写活動への意識が高められるような教科書だと思いました。以上の理由から光村図書を選ばせていただきました。

池原教育長
塩野谷委員

ありがとうございます。塩野谷委員お願いします。

私も先ほど国語で教育出版を推薦した関係上、書写も同じく教育出版を選択しました。理由については、各学年とも「目標」において学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、「考えよう」を参考にするなど、考えを広げたり深めたりする活動で、主体的・対話的で深い学びの学習活動が取り入れられていること。また、習得した知識を自ら書いて確かめる「書き込み欄」に容易に記入できるような工夫がされていること。「三年間の学習の成果を生かそう」では、いろいろな書き方・書式例が示されていて、実生活での活用に有効であること。楷書と行書の基本的な書き方に始まり、学習活動や日常生活に生かして書く、そして、身のまわりの多様な表現を通して、文字文化の豊かさに触れ、効果的・文字を書くということなどが中学校3年間の流れとなっており、全体の構成とバランスが良いという理由から教育出版を選びました。

池原教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員お願いします。

私は光村図書を推薦いたします。まず、筆使いや点画のつながり、省略等について、生徒自らに予測させ、さらに理由まで考えさせることにより、実感を持って主体的に学べるよう工夫されているところが良いと思いました。そして学習したことを実際の生活の中で生かす活動を多種多様に取り上げており、生徒の学習意欲を引き出す工夫がされているところも良いと思いました。また、デザインと文字の関係や生活の中での書体の使い分けについても学べるようになっており、生徒が目的意識を持って書写学習ができるよう図られていると思いました。最後に、ユニバーサルデザイン書体についての

コラムがあり、より良い社会を作るための手段という切り口からも、書について学べるところも良いと思いました。以上の理由から光村図書を推薦いたします。

池原教育長
田中 委員

ありがとうございます。田中委員お願いします。

私も結論を先に申し上げますと、光村図書を推薦したいと思います。教育出版と光村図書で悩みました。教育出版は書くことから派生する多くの事象をでき得る限り拡大し、それを資料などでさらに活用しようとしているところ、また、学習の進め方も明確で落ち着いた印象を持ちました。一方で、光村図書は改めて読んで思ったことで、冒頭に出っていますが、文字の読みやすさをメインに据えていて感心したところでした。何よりきれいに読みやすい文字を書くということがコンセプトにあると思いました。さらに「書写ブック」の使い勝手も悪くないと思いました。最初は別冊というのはいかがだと思っていましたが、藤澤委員からもお話があったように、筆ではなく硬筆を使うということですから、使い勝手は良いと感じました。それから、源氏物語や王羲之などの古文書を載せていて、芸術的な部分まで含めていたことと、「全国の文字マップ」は生徒の興味・関心を引くだろうと思いました。全体的には国語で光村図書を推薦しておりますので、連動した方が良いということも踏まえて、光村図書を推薦したいと思います。

池原教育長

ありがとうございます。最後に私からですが、4社ともに学習の確かめと日常生活で使う書式をまとめており、大きく変わりはないものと感じました。東京書籍では、「文字のいずみ」として、文字文化に多く触れているところは印象的でありましたが、他の出版社もコラムなどとして、文字文化に触れていると感じました。他の委員からもご発言がありましたが、光村図書は教科書に「書写ブック」がついており、毛筆で学習したことを硬筆に生かせる練習帳となっている点が特徴的で、国語の教科書との連携も考え、総合的に光村図書が良いと思いました。

書写については、光村図書というご意見が多い結果となりましたが、塩野谷委員いかがでしょうか。

塩野谷委員

書写は国語と連動する形が良いと思うので、光村図書でも良いと思います。

池原教育長

それでは、書写の採択すべき教科書は光村図書というご意見で全員一致しました。

光村図書を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
池原教育長

異議なし。

ご異議がないようですので、採択理由を確認するため暫時休憩いたします。

(休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

書写の採択につきましては、『巻頭に小学校での学習内容をまとめた「学習のはじめに」を設け、小学校からの円滑な接続を図るとともに、基礎・基本を確実に定着できるような配慮がされていること。「枕草子」など、国語科と関連を図った教材の掲載や、「全国文字マップ」では北海道の「BOYS BE AMBITIOUS」の石碑の写真を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がされていること。「書写テストに挑戦しよう」では、学習したことを確かめられるようになっており、巻末の「日常に役立つ書式」では、手紙や葉書、入学願書の書き方が掲載されているなど、生徒が目的意識を持ち、主体的に学習へ取り組むことができるよう工夫されていること。デザインと文字の関係や生活の中での書体の使い分けについても学べるようになっており、目的意識をもって学習できるようになっていること。ユニバーサルデザイン書体についてのコラムがあり、よりよい社会をつくるための手段、という切り口からも学べるよう工夫されていること。別冊の「書写ブック」は直接書き込めるようになっており、使い勝手がよく、毛筆で学習したことが硬筆に生かされるように工夫されていること。』などの理由により、発行者、光村図書を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
池原教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

次に地理の審議を行います。

地理につきましては、4種から採択を行います。

それでは、各委員からご発言願います。藤澤委員からお願いします。

藤澤 委員

それでは、私から述べさせていただきます。教育出版を推薦します。巻頭に小学校の社会科の学習の振り返りがあり、中学校の社会科の地理、歴史、公民の学習の内容を知り、地理を学習するための見方、考え方が示されていて、地球的課題とSDGsの説明がされているのが良いと思われました。主体的、対話的で深い学びの実現に資する学習については、「防災教育」において、学習課題を設定し、見通しを持たせるとともに、興味や関心を広げるコラム「地理の窓」を設けたり、個人やグループで学びを深めたりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられていました。「日本の諸地域」において、北海道における豊かな自然と観光を取り上げたり、持続可能な社会づくりの視点から、アイヌ民族の文化を紹介したりするなど、生徒の学習意欲を高めるための工夫がなされていました。章や節などの末尾において、「学習のまとめと表現」のページを設け、主な地名や言葉を確認する活動や設定されたテーマについ

て自分の言葉で説明する学習活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされていました。ワイド版で1時間の授業を見開き2ページで構成したり、全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字などを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、「まなびリンク」のQRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られていました。歴史的分野や公民的分野との関わりが各ページの欄外に記載され、総合的な学習ができるようになっていくところも良いと思いました。鹿追町や芽室町の写真や帯広市の雨温図の使用があり、また、本文中に帯広市の記載があり、地元の農産物を使ったお菓子などの加工品で知られていると紹介されていました。以上のことから教育出版を推薦いたします。東京書籍も北海道でアイヌ民族の文化の紹介や十勝・帯広の掲載もされていて良かったと思いますが、学習の計画が図れるのは教育出版ではないかと思いました。以上です。

池原教育長
塩野谷委員

ありがとうございます。塩野谷委員お願いします。

4社の中から東京書籍と教育出版の2社に絞り検討しました。世界や日本についての知識や環境、地域特性などについて適切な記述がなされているか、本文の内容についても比較しました。結論としては教育出版を推薦します。各章ごとの学習の流れとして、学習の視点、導入に始まり本論、そして「学習のまとめ」で統一されていること。歴史的分野や公民的分野との関わりが各ページの欄外に記載されていました。本文の記載内容についても比較しましたが、教育出版では、文章と資料を的確に活用しているように感じました。例えば、アフリカ農業のカカオとチョコレートについて、生産量のグラフがあり、私はガーナかと思いましたが、1位がコートジボワールで、輸入量の1位はオランダというのは意外でした。そういった資料の使い方であるとか、エネルギーについても、シェールガスの採掘の開発がアメリカでは進んでおり、輸出国になっていることが教育出版では記載があり、東京書籍では触れられていないなど、あるいは、北海道の気候について、北海道は梅雨がなくて夏は涼しいと言われてきましたが、教育出版では「近年は冷房が必要な暑い日も増え、2018年7月のような豪雨に見まわれることもある。」という記載があり、気候変化について適切に書かれていると思いました。また、水産業も北海道にとって主要産業であり、農業と同じくらいのスペースを取って写真や資料を掲載し、説明がされていました。最後に、「アイヌ民族の文化に学ぶ」では2ページにわたり取り上げており、アイヌの人たちの歴史・文化や北方領土に関する内容やページ数も多く説明がされていると思いました。以上のことから教育出版を推薦します。

池原教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員お願いします。

私は東京書籍を推薦します。理由については、各単元の導入部で「探求課題」を立て、その間いを軸に構造化された学習の流れの中で主体的な学びの実現が図られているところが良いと思いました。それから、第2章、世界の諸地域の「導入の活動」と「まとめの活動」では、地球的な課題をSDGsと結びつけて考え、整理させることで地理を学ぶ意義について生徒自らに気づかせ、意欲を引き出す工夫がされていると思いました。また、「みんなでチャレンジ」のコーナーでは、参加型学習を通して多様な意見や考え方に触れ、より深い気づきや学びを得られるよう工夫されていると思いました。「スキル・アップ」などでは、地図やグラフ、資料を読み取ってそれを活用する方法と技術を身につけられるよう図られているところが良いと思いました。全体として、各地域について、文化や歴史、課題などをバランスよく織り交ぜて紹介しており、各地理的特色をより深く理解できるよう図られていると思いました。特に地域の課題については、地域格差、移民や難民、貧困、宗教差別等を正面から取り上げ、他分野にわたる深い学びを促していると思いました。北海道・十勝の産業や気候、食品加工や観光産業などについても取り上げており、自然と結びつけてアイヌ民族の文化にも触れているところが良かったと思います。以上です。

池原教育長
田中 委員

ありがとうございます。田中委員お願いします。

4社の中から東京書籍と教育出版に絞って検討させていただきました。結論を先に申し上げますと、東京書籍を推薦したいと思います。科目としての社会というのは、未来に向けてどうやって持続可能な社会を作り出すのか、そのためには過去、現在、未来をどのように捉えていくのかというところに焦点が絞られていると思います。つまり現状をいかに踏まえて、豊かな未来を構築していくのかという点を生徒たちの学びの中心に見るというわけです。それを踏まえるために、佐々木委員からもお話があったように、生徒の主体的でかつ対話的な学びをどうやって誘導していくのかという点に教科書のテーマがあると思います。その点を中心に検討しました。どの出版社も基本的には、今申し上げた点はありましたが、一番全面的、かつ深刻にという理解で、子どもたちに未来を問いかけていたのは東京書籍だと思いました。細かいところでは、小学校との関わりを連続的に示していること。「地理にアクセス」「みんなでチャレンジ」などで主体的・対話的な学びの実践が期待できること。「スキル・アップ」「まとめの活動」「学習のまとめの活動」でしっかりと学習のまとめをすることができること。また、どの出版社にもイラストや吹き出しがありますが、一番、生徒の関心を高めやすいという印象をこの教科書で持ちました。また、印象づけさせる黒ゴシック体

も多い印象がありました。十勝平野の説明や柳月の社長のコメントもあり、帯広の子どもたちには馴染み深いと思いました。繰り返しになりますけれど、対話的、かつ主体的である学びを実践していく上では、東京書籍が適していると考えた次第です。以上です。

池原教育長

ありがとうございます。最後に私ですが、教育出版と帝国書院は地理的な見方、考え方を鍛えていくことを基本に、学習の振り返りやまとめを自分の言葉で説明できるようにする構成になっている印象を受けました。東京書籍と日本文教出版は、加えて学習を深める活動の場、「読み取る・深める」の掲載があり、特に東京書籍では、あらかじめ「探求課題」を設定し、まとめの段階で、その課題解決を自分の言葉でまとめる活動が掲載されている点があったように感じました。また、主体的・対話的学びとしては、教育出版と東京書籍で学習の振り返りの際、話し合いの場を持つ活動が多く掲載されている印象を受けました。その中で東京書籍は、グループ活動の作業が多く、また、ゲーム的要素もあるので、話し合いに入りやすい環境があるように感じ、最終的に東京書籍が良いと思いました。

皆様のご発言を伺っておりますと、東京書籍が3人、教育出版が2人でご意見が分かれています。皆様のご意見を聞いて、藤澤委員はいかがでしょう。

藤澤 委員

私も東京書籍と教育出版の2社に絞って検討し、教育出版を選びましたが、東京書籍も良いと思いましたので、問題はありません。

池原教育長

塩野谷委員はいかがでしょう。

塩野谷委員

地理は世界や日本の地域の知識・特性などがきちんと書かれているかどうかということを中心に見ると、東京書籍は北海道の農業についての記載はありますが、水産業についてはさらっと流していて、水産業も同じくらいのスペースで取り上げてほしいと思いました。最近の気候の例にしても、教育出版では太陽エネルギーやバイオマスなどについても触れられており、東京書籍では最近の流れなどについて、きちんと反映されていないような気がしました。いずれにしても北海道の記載が少ないように感じました。

田中 委員

塩野谷委員は一貫してそういった問題意識を持っていらっしゃることは承知しております。どちらも検定を通っている教科書でありますので、どちらが良い悪いという判断はなかなか付けにくいと思います。私が東京書籍をなぜ推薦したのかということ、繰り返しになりますが、どうやって子どもたちに未来を見据えさせるかということで、生徒にとっても教員にとっても東京書籍がより優れていたと思ったからです。

塩野谷委員

未来を見据えるためには現状をきちんと記述し、知らせる必要があるだろうと私は思いました。

池原教育長

内容については各教科書によって違いがあると思いますが、先ほ

ども申し上げましたが、東京書籍は話し合いやグループ活動を通して、どうやって子どもたちに教えていくかという点でも良かったと思いました。

ここで暫時休憩します。

(休憩)

再開します。

各委員からそれぞれご意見をいただきました。塩野谷委員からは東京書籍の教科書の内容について、様々なご意見をいただきまして、今後、教科書を活用される際に出版社としても配慮いただければという思いを強く感じました。総合しますと東京書籍を推薦するご意見が多く、東京書籍ということで塩野谷委員よろしいですか。

はい。

それでは、地理の採択すべき教科書は東京書籍というご意見で全員一致しました。

東京書籍を採択することにご異議ありませんか。

異議なし。

ご異議がないようですので、採択理由を確認するため暫時休憩いたします。

(休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

地理の採択につきましては、『各単元の導入部では、「探究課題」を立て、その問いを軸に構造化された学習の流れにおいて「主体的な学び」の実現が図られるよう工夫されていること。学習の振り返りの際、グループ活動や話し合いの場を持つ活動が多く掲載されており、対話的な学びが実現できるよう工夫されていること。持続可能な社会の実現に向けた視点を示すとともに、生徒が地理を学ぶ意義を捉えられるよう工夫されていること。北海道・十勝の産業や気候なども掲載され、生徒に親しみやすい内容が取り上げられていること。「みんなでチャレンジ」のコーナーでは、参加型学習を通して多様な意見や考え方に触れ、より深い気付きや学びを得られるよう工夫されていること。』などの理由により、発行者、東京書籍を採択することにご異議ありませんか。

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

次に歴史の審議を行います。

歴史につきましては、7種から採択を行います。

それでは、各委員からご発言願います。藤澤委員からお願いします。

それでは、私から述べさせていただきます。各社いろいろな違い

塩野谷委員
池原教育長

各委員
池原教育長

各委員
池原教育長

藤澤委員

がありましたけれど、東京書籍を推薦します。歴史的な分野の目標が達成できるような学習活動が取り上げられています。代表的なものとして、二度の世界大戦の原因と日本に与えた影響に着目して、国民の政治参加が進む一方で、戦争が続いた背景を考察したり、単元のまとめでは、戦争へのターニングポイントはなんだろうという主題を設け、時代の特色を理解するという事は、多角的な思考力、公正な判断力、豊かな表現力が学習できるものと思われまふ。「歴史へのとびら」においては、歴史の学び方について学習した後、時代区分ごとの時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫が見られると思ひました。小学校の学習内容を振り返る活動を設け、小・中の学習内容の円滑な接続を図っていました。分野をまたがる題材には分野関連マークを、他教科でも扱う学習内容には教科関連マークを付すなどの特色が見られました。「チェック」で1単位時間の学習の終りに基礎事項を確認する活動や「トライ」で要約や説明により、学習課題を解決する活動を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫が見られました。教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいようユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動としてQRコードを掲載するなど、使用上の便宜も図られていました。「資料から発見！」のコーナーでは、「屏風絵から中世の人々の生活をとらえよう」として、資料の読解の技能を高めるとともに文化財を通じて、我が国の伝統と文化に誇りを持つて工夫がされていると思ひました。以上のことから東京書籍を推薦します。

池原教育長
塩野谷委員

ありがとうございます。塩野谷委員お願いします。

7社のうち、東京書籍、教育出版、日本文教出版に絞って検討いたしました。それぞれの教科書の本文については、多少の記述内容の違いはありましたが、どれも良くできていると思ひました。日本文教出版のインデックスは、世紀・時代で表示されていて、学習している時代が世紀・時代で表示されていて、学習している時代の確認がすぐにできるところは良いアイデアで、他社でも取り入れていただきたいと思ひました。最終的には、地理との関わりを考慮して、地理と同じ教育出版を推薦したいのですが、先ほど地理は東京書籍となりましたので、歴史は各社の差をそれほど感じませんでしたので東京書籍でも良いと思ひます。ただ、教育出版の巻末の「歴史年表」は両観音の構成で、すべての時代を一覧で見ることができるのも良かった点だと思ひます。以上のことから地理との関連もあり、最終的な推薦は教育出版から東京書籍に変更したいと思ひます。

池原教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員お願いします。

私も東京書籍を推薦したいと思ひます。まず、東京書籍の地理・

歴史・公民で共通しているのですが、冒頭にSDGsを掲げ、それらの各目標の視点から歴史を学ぶ意義をわかりやすく説いているところは、生徒が見通しを持って学習意欲を高めることに役立つと思いました。日本のエネルギー問題、アイヌ民族、震災、復興等の様々な事項に関し、これも地理・歴史・公民に共通していて「もっと地理」「もっと歴史」「もっと公民」というコーナーで、各分野から多面的・多角的に学べるよう工夫されているのが良いと思いました。「まとめの活動」では、藤澤委員もおっしゃっていました「古代日本のキーパーソンは誰だろう」や「戦争へのターニングポイントは何だろう」などの問いを設けて、教科書に直接書き込める形式で、自らの考えを深めながら時代の特色を理解し、歴史の大きな流れを掴めるよう工夫されていると思いました。また、「くらげチャート」「ピラミッドストラクチャ」「ステップチャート」等の多様な思考ツールを用いて、学習内容を整理しているのも特色の1つだと思いました。全体として、中学校で習得すべき歴史的知識や概念を過不足なく盛り込んでおり、その上で課題解決に向けた思考力を養うことに重点が置かれているのが良いと思いました。以上の理由から東京書籍を推薦したいと思います。

池原教育長
田中 委員

ありがとうございます。田中委員お願いします。

私も歴史に関しては東京書籍が良いと思いました。社会科全般に言えることですが、自学自習がベースになると思いますので、その上で考えると、使いやすさでは東京書籍が良いと思いました。説明の文章だけではなくて、資料の配置や1ページの中に惹きつけるという意味でのバラエティさもあったと思います。通常暗記科目になりがちな歴史という科目に際して、論理的な思考力を身につけさせたいとしており、いわゆる明るい未来につなげていこうと考えているように思いました。また、復元図がたくさん使われている印象を持ちました。委員の皆さんのおっしゃったことと重複しますが、「歴史へのとびら」で歴史の学び方を押さえるという点、教育長が地理のところでおっしゃった生徒のプレゼンテーション能力を育てるという観点が明確に出ていること。佐々木委員からもお話のあった「もっと歴史」によって、より深い学びができる場所もあること。もう1点は、文化、建造物などの写真が美しく、生徒たちに日本や世界の文化・文明に対する敬意を醸成させることができるのではないかと思います。さらにアイヌ文化に関して、歴史的な知見や人間の差別の歴史についても触れられており、生徒にとっては客観的な学びがもたらされると思いました。以上の理由から東京書籍を推薦します。

池原教育長

ありがとうございます。最後に私ですが、田中委員も触れられていましたアイヌ関連について、アイヌの人たちの歴史、文化の記載

が最も多いのは、帝国書院で、次に東京書籍と教育出版でした。少ないのは、山川出版社と育鵬社となっております。「歴史の学習を終えて」というタイトルで、学び舎は、ある生徒の感想を掲載したことにとどまっていますが、日本文教出版、山川出版、育鵬社は最後の学習において、よりよい未来を作るための自分の考えをまとめる活動がありました。東京書籍、教育出版、帝国書院については、それをグループで話し合うものとなっております、より深い学びにつながる点で東京書籍、教育出版、帝国書院の3社を評価しました。最終的には分野をまたがる題材や他教科でも扱う学習内容をわかりやすく整理している点も評価し、東京書籍が良いと思いました。

皆様のご意見を総合いたしますと、歴史の採択すべき教科書は東京書籍という意見で全員一致しております。

東京書籍を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
池原教育長

異議なし。

ご異議がないようですので、採択理由を確認するため暫時休憩いたします。

(休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

歴史の採択につきましては、『「歴史へのとびら」において学び方を学習した後、時代毎の特色や歴史の流れについて系統的・発展的に学習できるようになっていること。地理、歴史、公民の各分野にわたる題材や他教科でも扱う学習内容が分かりやすく整理され、多面的・多角的に学べるよう工夫されていること。「まとめの活動」では、多様な思考ツールを活用しながら教科書に直接書き込む形式を用いることで、自らの考えを深め、時代の特色や歴史の流れを理解できるよう工夫されていること。教科書の使い方について説明するページやユニバーサルデザインフォントの使用、端末を活用した学習活動のためのQRコードの掲載など、使用上の便宜が図られていること。アイヌの人たちに関する歴史や文化、我が国の伝統と文化などへの敬意を持つことができるような工夫がされていること。絵画資料を大きく取り上げる「資料から発見！」を設け、資料を読み取る技能を高めるとともに、文化財を通じて我が国の伝統と文化に誇りを持てる工夫がみられること。』などの理由により、発行者、東京書籍を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
池原教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

次に公民の審議を行います。

公民につきましては、6種から採択を行います。

それでは、各委員からご発言願います。藤澤委員からお願いしま

藤澤 委員

す。

私から述べさせていただきます。東京書籍を推薦します。巻頭に『「公民」では現代社会のさまざまな課題について、それを解決し、持続可能な社会を実現するにはどうしたらよいか学習していきます。』と記載され、公民の学習の目的が明記されているところが良いと思いました。現代社会には環境・エネルギー、防災・安全、伝統・文化、人権・平和、情報・技術と関わって、数多くの課題が存在しています。それらは公民の学習をとおして、未来の社会を切り開く力を身につけられる教科書になっていると感じました。各単元の導入部では多様な活動を通して「探究課題」を立てることで、学習内容への興味・関心を高めながら、円滑に学習が進められるようになっています。1単位時間の学習では、学習のめあてとなる「学習課題」を提示し、学習の終わりに基礎事項を確認する「チェック」と要約や説明などをする「トライ」の2段階の問いで、学習課題を解決することで、学習内容の定着が図れるようになっていると思われまます。小集団での参加型学習である「みんなでチャレンジ」を課題追及のポイントとなる1単位時間の学習や「導入の活動」「まとめの活動」などに設け、対話的な学習の場面を作ることで、他者の協働を通じて思考力、判断力、表現力を高められるようになっていました。「見方・考え方」については、各単元の学習で模式図やイラストを用いてわかりやすく説明し、さらに概念の理解を深められる問いを「見方・考え方」のコーナーに示していました。「見方・考え方」「みんなでチャレンジ」や「チェック&トライ」など、公民学習全体を通じて働かせる場面を設けることで、無理なく現代社会の見方、考え方に習熟でき、深い学びが実現できる工夫がされていました。国際連合における持続可能な開発のための取り組みを扱うとされた第5章「地球社会と私たち」では、導入で国連の持続可能な開発目標SDGsを理解させる活動を取り上げ、国際社会が抱える諸課題の理解を促していました。芽室町の議会改革を取り上げ、北海道の事例から地方自治を考察できるようにしたり、旭川市のアイヌ語の地名表示板の写真を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がされていました。教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいように、立体感や陰影のある表現を省いたデザインを取り入れたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動としてQRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られていました。以上の理由から東京書籍を推薦します。

池原教育長
塩野谷委員

ありがとうございます。塩野谷委員お願いします。

まず、採択理由からお話ししたいと思います。導入部分で持続可能な未来をつくるために、SDGsを入り口にして「本質的な問い」のもと、現状の課題を捉え自分の見方・考え方と様々なつながりや

関係について学ぶことへの意識づけがされていること。各章では「学習のはじめに」で、全体の学習課題をとらえ学習の見通しを持つ活動や「学習のまとめと表現」で学んだ内容を振り返って整理する活動を掲載するなど主体的に学習に取り組む工夫があること。また、各ページに小学校や地理・歴史との関連及び関連するSDGsの表示があること。現代社会の学習から始まり、政治・経済・国際社会を学び、最後にSDGsをテーマに私たちが未来社会を築くという学習の流れの中で自分自身の生き方や考え方を広め、深めるというような構成になっているという理由から、地理、歴史との関連から、教育出版を推薦したいと思ったわけですが、先ほど地理、歴史とも東京書籍となりましたので、東京書籍も選択肢の1つに入れていいと判断しました。以上です。

池原教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員お願いします。

私は東京書籍を推薦いたします。藤澤委員がおっしゃったことと重複しますが、冒頭にSDGsを掲げ、それらの視点から公民を学ぶ意義について説明されているのが良いと思いました。身近な校内トラブルを題材にしたルール作りや選挙シミュレーション、模擬裁判などを通して、主権者意識を高められよう工夫されているのが良いと思いました。憲法上保障されている人権について厚く取り上げており、生徒自ら人権について調べ、人権上の諸課題について話し合い、深く考察できるよう図られているのも良いと思いました。部落、アイヌ、在日外国人等の差別問題についても、正面から取り上げているのも好印象でした。また、パートナーシップ制度等、性の多様性への理解を促す記述もありました。私の見落としがなければ、本文中で取り上げているのは東京書籍が唯一だったと思います。全体として、現代社会における人権問題について、多角的に漏らさず触れている印象を受けました。また、とても良いと思ったところが55ページ、「私の選ぶ自由は」というコーナーです。様々な形の「自由」を我がこととして考える機会を設け、そこから進んで参政権や裁判を受ける権利等が基本的人権を確実に保障するための重要な権利であることをわかりやすく説明しており、実感を伴って諸権利について生徒自らが考えられる機会を多く設けているのが東京書籍だと思いました。以上です。

池原教育長
田中 委員

ありがとうございます。田中委員お願いします。

結論から申し上げますと、私も東京書籍が良いのではないかと判断いたしました。6社から教育出版と東京書籍に絞り検討しましたが、東京書籍が良いと思いました。どちらも大きな説明の違いはないように感じました。ただ、東京書籍の方が生徒たちの主体的な学びという観点から、教育長が先ほどから何度か言われていたように、グループワーク、意見発表等で積極的な学びを意識した作りになっ

ているような気がしました。公民は今生きている私たちの生活に直結しているわけで、常に自らの日常が問われてくると、その点への具体的な啓発教材が東京書籍の作り方により多く見えているのではないかと考えました。皆さんと重複する点がありますけれど、「公民にアクセス」や「もっと公民」といったところで、AI、IOT、VRなどの今日的な技術革新から始まって、伝統文化、多文化共生へと身近な例を挙げていて、それによって日常や未来と学びが繋がってくるということ。佐々木委員が言われていた、公正の意味の観点だと思いますが、その際の決まりを作る様子が具体的に書かれていたこと。あるいは、ウポポイとは明記されてはいませんでした。白老のアイヌの施設を想定できる記述がありました。歴史的な様々な差別問題に対する記述もしっかりあったと思います。模擬裁判例がしっかり出ていること、芽室町議会改革の問題、空き家、廃校に関する現代的な課題についても身近な例として出ていました。それから、参考法令集は、他の教科書にもあったのかもしれませんが、生徒や先生にとっては使いやすいものだと思います。以上のことから、全体的なバランスも考えて東京書籍が良いと思った次第です。

池原教育長

ありがとうございます。最後に私ですが、6社とも道内各市町村の条例やまちづくりなどを取り上げています。他の委員の方もSDGsについて触れていましたけれど、自由社においては掲載が少なかったという印象です。まちづくりへの参画については、自由社と育鵬社は、まちづくりの提案をグループで話し合うもの。日本文教出版は市長の公約づくりと投票を生徒たちで実施するもの。教育出版は、まちづくりのアイデア提言に関わり、企業への取材や情報収集というところから始めている印象を受けました。また、帝国書院では、まちづくりへの提案とその予算づくりまで踏み込んでいる印象を受けました。東京書籍では市長になっての条例案づくりをまとめの活動としており、他とは違う視点があり特色があるものと感じております。こうしたまちづくりへの参画の観点からは、教育出版、帝国書院、東京書籍を評価しました。また、選挙の流れや消費生活における契約についてわかりやすく掲載しているものとして、東京書籍と帝国書院を評価しました。最終的には東京書籍と帝国書院のうち、アイヌの人たちの歴史、文化等を取り上げているページ数が多く、課題解決の活動等も含め、総合的に東京書籍が良いと思いました。

各委員のご発言を伺っておりますと、塩野谷委員からは他の教科との関連から、東京書籍も選択肢として入れてもいいというお話がありましたけれど、東京書籍でよろしいでしょうか。

塩野谷委員

はい、異論はございません。

池原教育長

それでは、皆さんのご意見を総合いたしますと、公民の採択すべき教科書は東京書籍というご意見で全員一致しました。

東京書籍を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員

異議なし。

池原教育長

ご異議がないようですので、採択理由を確認するため、暫時休憩いたします。

(休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

『授業の終わりに基礎事項を確認する「チェック」と、要約や説明などをする「トライ」の2段階で、学習内容の定着を図ることができるよう配慮されていること。先住民族としてのアイヌの人たちの歴史や文化のほか、パートナーシップ制度、性の多様性などが多角的に示されており、人権などについて深く考察できるよう工夫されていること。今日的な技術革新に触れる中でも、身近な例を挙げながら伝統文化や多文化共生などの視点を持たせ、持続可能な社会の実現に向けた考察ができるよう工夫されていること。様々な地方自治の題材を取り上げることにより、まちづくりへの参画を促す工夫がされていること。教科書の構成と使い方を説明するページや、立体感や陰影のある表現を省いたデザインの採用、QRコードの掲載など、学習上の便宜が図られていること。』などの理由により、東京書籍を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員

異議なし。

池原教育長

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

ここで休憩といたします。

再開を13時といたします。

(休憩)

再開いたします。

次に地図の審議を行います。地図につきましては、2種から採択を行います。

それでは、各委員からご発言願います。藤澤委員からお願いします。

藤澤 委員

私から述べさせていただきます。帝国書院を推薦します。大判の判型のA4判を活かし、地域を学ぶ際に最も適切な図取りとなるように配慮されていました。生徒が家庭に持ち帰ることを想定し、従前より15%軽い紙と軽量の製本様式が用いられていました。地図・写真を美しく鮮明に表現するために、地図専用の特殊な用紙を使用するとともに、クサ色の特殊インキを加えた多色刷りで印刷されていました。また、地球環境に配慮して、再生紙と植物用インキを使用していました。製本はページの落丁を防ぐために、糸かがり

の方法が用いられるとともに、背に寒冷紗を用いて強化し、3年間の使用に耐える丈夫な製本仕様になっていました。地図帳の構成や方位、地図記号、縮尺、さくいんの使い方など、地図帳の基本的な見方・使い方が巻頭の「地図帳の使い方」ページに分かりやすく解説されていたり、地図から読み取る学習活動や言語活動を促すコーナー「地図活用」は主体的に学習に取り組むことができるようになっていました。持続可能な社会の実現に関して「防災」「環境」「日本との結びつき」のテーマをもたせた特設資料図が掲載されており、現在及び将来の社会が直面する課題及び持続可能な社会について考えられるようになってきていると思われまます。世界の各州に生活・文化・産業などのイラストを配した鳥瞰図を掲載したり、北海道地方の資料において、開拓の歴史とアイヌ語地名、帯広の記載がありました。十勝平野の畑作として、芽室町の資料図を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める特色が見られました。以上のことにより、大判で図や写真、資料が見やすく、丈夫な製本となっている帝国書院を推薦します。

池原教育長
塩野谷委員

ありがとうございます。塩野谷委員お願いします。

何より大きく見やすく、視覚的に地域を捉えやすいこと。豊富な資料や写真が掲載されていること。北海道地方の資料において、開拓の歴史とアイヌ語名に帯広の記載があることから、帝国書院を推薦いたします。

池原教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員お願いします。

私も帝国書院を推薦します。まず、鳥瞰図を見せることにより、地理的なイメージを視覚的につかみやすくしているところ、大判で見やすく、詳細ながらもわかりやすい地図が採用されており、各種データや写真などの資料も豊富で、調べ学習のための資料として最適な作りになっていると思いました。さらに「地図活用のコーナー」「地図帳の使い方」など、地図を効果的に使いこなす力を養うことに重点が置かれているところは、調べ学習に資するものだと思いました。また、藤澤委員も塩野谷委員もおっしゃっていましたが、北海道の開拓の歴史やアイヌ語の地名の図を掲載しているのも良いと思いました。以上です。

池原教育長
田中 委員

ありがとうございます。田中委員お願いします。

2社のうち、やはり帝国書院だと思いました。皆さんがおっしゃったとおりで、繰り返しになりますが、サイズの違いと紙の質も違っていたと思います。見慣れているということもあるかもしれませんが、帝国書院の方が見やすいと思いました。地図帳としての資料、情報がものすごく充実していましたし、他の分野、歴史上の事件などとも連動させた形で作られていました。また、地図上における地域の切り取り方については、全部出すわけにはいかないの

どう切るかという点も巧みだったと思います。以上の理由から帝国書院を推薦したいと思います。

池原教育長

ありがとうございます。最後に私からです。東京書籍は地図以外の部分の資料として、現代社会の課題などを世界的視点で捉えているところは評価しましたが、地図帳そのものの使いやすさ、地図の見やすさという点で考えると、最終的には帝国書院が良いと思いました。

皆様のご意見を総合いたしますと、地図の採択すべき教科書は帝国書院というご意見で全員一致しております。

帝国書院を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員

異議なし。

池原教育長

ご異議がないようですので、採択理由を確認するため暫時休憩いたします。

(休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

地図の採択につきましては、『A4判の大きさを生かし、内容も見やすく情報量も多く、また、地域を学ぶ際に最も適切な縮尺での見開きや、鳥瞰図による見やすさなどが配慮されていること。「地図活用のコーナー」「地図帳の使い方」など、地図を効果的に使いこなす技能を養うよう配慮され、重要な歴史上のできごとなどの場所について、年号や説明とともに記載されていること。産業の様子などの統計も含め資料が充実しているとともに、十勝平野についても畑作や北海道開拓の歴史、帯広のアイヌ語名の記載により、生徒にとって身近に感じられること。生徒が家庭に持ち帰ることを想定し、従前より15%軽い紙と軽量の製本様式が用いられていること。持続可能な社会の担い手として成長すべき点を示し、生命の多様性・共生に関連する作家の作品などを取り上げるなど、生徒の関心を高める工夫がされていること。』などの理由により、帝国書院を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員

異議なし。

池原教育長

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

次に数学の審議を行います。

数学につきましては、7種から採択を行います。

それでは、各委員からご発言願います。藤澤委員お願いします。

藤澤 委員

それでは、私から述べさせていただきます。東京書籍を推薦いたします。学びに向かう力、人間性等の育成のための取り組みとして「章とびら」では、生徒の疑問を引き出して、学習への動機づけをし、「節の導入」では、疑問から次の学びへと向かう意欲が高まる工夫がされていました。「学びをふり返ろう」を節などの内容のま

りごとに設け、問題解決で働かせた見方・考え方などを振り返り、数学の良さを実感できるようになっていました。「学びをひろげよう」では、数学と実社会や職業とのつながりを伝え、数学の有用性を実感できるようになっていました。学習方法と展開の工夫として「大切にしたい数学の学び方」では、問題解決の進め方とともに、発表の仕方や聞き方、振り返りや深める視点などが分かるようになっていました。「ノートづくり方」「数学マイノート」では、基本的なノートの使い方、思考の過程や振り返りの記述例を紹介し、学習習慣として身につくようになっていたと思われました。教科横断的な教育課題への取り組みとして「防災・安全」「環境」「多様性の尊重」「伝統・文化」に関わる題材などに「他教科関連マーク」をつけ、教科横断的に取り組む際の参考になるようになっていました。「数学マイノート」でノートの使い方を示したり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインを取り入れたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動としてQRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られていました。東京書籍の教科書は数学の学び方を通して、生徒たちが未来を拓くための学力の支えであり、学力を発展させる力である資質、能力の育成をめざして編集されていると思われました。生きていくための数学の必要性や楽しみが盛り込まれているようにも思いました。以上のことから東京書籍を推薦します。

池原教育長
塩野谷委員

ありがとうございます。塩野谷委員お願いします。

7社から1社に絞るのに大変悩みました。啓林館の「みんなで学ぼう編」に加えて「自分から学ぼう編」で学びを広げていこうというのは良いアイデアだと思いましたし、日本文教出版の巻末の「マイトライ」は非常に興味深い内容でありました。また、数研出版は別冊で「探求ノート」を準備していますが、別冊にする必要はないように思いました。教育出版はインデックスがなくて使いにくいように感じました。7社ともそれぞれ一長一短があり、特徴があって迷いましたが、最終的には東京書籍を推薦したいと思います。3点ほど理由を申し上げます。まず、章末の問題をAとBに分け、特にB問題は実社会や他教科との関りを持たせていて、日常生活や社会の事象に関わる問題発見・解決を重視し、実生活で数学を生かして考える力を身につけさせる工夫があること。2点目、「データの活用」においても身近な例が多いこと。3点目は巻末の「数学の自由研究」のコーナーは興味深い内容が取り上げられており、生徒の学習意欲を高めるものであると思います。以上の理由から東京書籍を推薦します。

池原教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員お願いします。

私も東京書籍を推薦します。藤澤委員と塩野谷委員の理由と重な

るところもありますが、述べたいと思います。「章とびら」で、まず生徒自身から疑問を引き出し、課題を設定した上で解決していく形式をとっているのはとても良いと思いました。他教科や実社会と関わる問題を一貫して出しているところは、生徒の学習意欲を引き出す上でも良いと思いました。全体として、身近な物事、実生活の中から生まれる疑問や課題を解決する手段として数学を認識し、楽しみながら問題解決能力や思考力を養えるようになってきていると思いました。ひし形のマークで躓きやすい箇所を重点的に指導できるよう工夫されていること、繰り返し練習するための「補充の問題」で、基礎的・基本的な知識や技能が確実に習得できるよう図られているところも良いと思いました。塩野谷委員もおっしゃっていましたが、「データの活用」については、全学年を通して現代の中学生に非常に身近で親しみやすいテーマを取り上げ、生徒の学習意欲を高める工夫がされていると思いました。全体的に問題を解いていく過程を誘導していくところもわかりやすい作りで、数学に対する苦手意識をあまり持たないよう工夫されているのも好印象でした。以上の理由から東京書籍を推薦します。

池原教育長
田中 委員

ありがとうございます。田中委員お願いします。

私も結論から申し上げますと、東京書籍を推薦したいと思います。どなたかおっしゃっていましたが、数学が一番好き嫌いが出る科目だと私も思います。いみじくも数学が嫌いだから文系という進路設定になってしまうこともあるかと。数学に苦手意識を持つ、つまらない、わからないという負の連鎖に陥りやすいのは、恐らく小学校高学年から中学校にかけての時期が一番多いのではないかと思います。中学校の数学の大命題であり、恐らく先生の授業における最大の課題はそこだろうと思います。その点で東京書籍は他の教科書に比べて、日常の様々な具体的なイメージから抽象へ、具象から抽象へと行ったらいいか、その橋渡しをしたいという意図がかなり明確に見えた気がしました。我々の世代には勉強は個人でするもので、特に数学はグループワークとか、対人関係の中で勉強していくという発想は全くなかったと思います。そうではなく生徒同士の対話の中から学びを深めていく考え方に立っていると思いました。先生から教えられるよりも、お互いに学び合う方が嫌になるパーセンテージが少ないという感じもします。これは今日的な教育のパターンの1つだと思います。そういった主体的な学びをサポートする仕組みを東京書籍からは感じとれました。細かい点では、東京オリンピック・パラリンピックのエンブレムが出ていて、身近なデザインや建築物から数学的な見方を出して生徒の興味を引きやすいと思いました。また、ノートの作り方や書き方がしっかり示されていましたし、塩野谷委員もおっしゃっていましたが、章末の問題をAとBに分け

池原教育長

ていて発展的な学習ができるよう工夫されていると思いました。東京書籍はバランスが良く、数学嫌いになりにくい教科書ではないかと思いました。以上の理由から東京書籍を推薦したいと思います。

ありがとうございます。最後に私からです。7社とも数学と職業、福祉・環境との関連など、数学を生活に生かす視点が入っており、評価できると思いました。また、生徒が自ら問題を見いだしていく姿勢を引き出す観点では、東京書籍の「自由研究」、大日本図書、学校図書がいずれも「レポート」、数研出版の「探究ノート」という形で掲載があり、また、日本文教出版は巻末に互いの考えを伝え合う「対話シート」があり、いずれも評価できるものと感じております。啓林館はシンプルであります。巻末の問題集が横開きであることで使い勝手が悪いように思いました。最終評価では、学びの振り返りの視点から、東京書籍、学校図書、教育出版に絞り、その中でも、東京書籍は章ごとに問題解決の過程を振り返るページが評価でき、総合的に東京書籍が良いと思いました。

皆様のご意見を総合いたしますと、数学の採択すべき教科書は東京書籍というご意見で全員一致しております。

東京書籍を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
池原教育長

異議なし。

ご異議がないようですので、採択理由を確認するため暫時休憩いたします。

(休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

数学の採択につきましては、『各単元の最初のページにある「章とびら」では生徒の疑問を引き出すような単元の導入における工夫がされており、生徒自身が課題を設定し、学習への動機付けができるよう工夫されていること。内容のまとまりごとに問題解決の過程を振り返る「学びをふり返ろう」のページがあり、生徒同士の対話や自らの学びをノートにまとめるなどの具体的な方法を通して、数学に対する主体的な学びが実現できるよう工夫されていること。日常生活や社会の事象に関わる問題発見・解決を重視し、実生活で数学を生かして考える力を身に付けることができるよう工夫されていること。章末の問題を基礎的なA問題と応用的なB問題に分け、特にB問題は実社会や地域、他教科とのかかわりをもたせており、系統的・発展的に学習できるようになっていること。東京オリンピック・パラリンピックのエンブレムなど、実際の身近なデザインや建物などから数学的な見方を示し、生徒が興味をもって学習に取り組めるよう工夫されていること。』などの理由により、東京書籍を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
池原教育長

異議なし。
ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。
次に理科の審議を行います。

藤澤 委員

理科につきましては、5種から採択を行います。
それでは各委員からご発言願います。藤澤委員お願いします。
それでは私から述べたいと思います。啓林館を推薦します。理由については、主体的・対話的で深い学びができるように工夫されていて、探究的な学習に主体的に取り組む活動として、各単元に1つ「探Q実験」を設定し、「探Qシート」により、生徒の活動をサポートしています。左右に広いAB判により、丁寧な本文記述とダイナミックな図や写真の両立を図り、学習意欲を高めていると思いました。自ら考える場、対話的な学びの場として、「話し合ってみよう」「考えてみよう」「表現してみよう」を設けています。生活の中の何げない疑問を、対話を通して解決する場面として「みんなで解決」を設けていました。理科の見方・考え方として、「生命」「地球」「物質」「エネルギー」の領域ごとの特徴的な「理科の見方」で事象を捉え、探究の過程の中で比較したり、関係付けたりするなどの「理科の考え方」を働かせるようになっていたと思いました。UDフォントを採用し、メディアUDを申請中で、文字・配色・デザインを配慮して、すべての生徒が支障なく学習できるようになっていました。学習の要所に多くのQRコードを掲載し、リンクしたコンテンツで既習事項や学習内容を確認することができ、動画などが充実していると思いました。「実験を正しく安全に進めるために」「注意マーク」「安全マーク」を表示して、注意点やスキルを丁寧に紹介して、安全に実験・観察が行えるようになっていました。他教科との関連を設け、横断的な学習ができるようにもなっていました。湿度や電気抵抗の計算のように、数学の基本事項が必要な箇所には「算数・数学と関連」のコーナーを設け、また、巻末に「理科でよく使う算数・数学」を設けていました。SDGsの対応としては、3年生の巻末に1分野と2分野を融合した環境単元を構成し、持続可能な社会の実現に向け、自分たちが求められていることを考えさせるようになっていました。啓林館の教科書は図や写真が見やすく、QRコードの内容も充実していて良いと思いました。以上の理由から啓林館を推薦します。

池原教育長
塩野谷委員

ありがとうございます。塩野谷委員お願いします。

5社の教科書の中から、AB版で北海道との関わりのある内容が多く掲載されている教育出版と啓林館に絞って比較しました。その結果、非常に迷いましたが、どちらかというと教育出版が良いのではないかと思います。教科内容について、自然の事象・現象についての理解を深め、観察・実験などを行うなど科学的に探究する基本

的技能を身につけられるような題材が多くありました。実験結果の写真を豊富に掲載するなど、文章、イラスト、図版などの配置が思考の流れに沿って、見やすくレイアウトされており、興味深く科学を学ぶことができるように工夫されていると思いました。また、文字も13ポイントフォントでゆったりと読みやすく、すっきり感があり、後で振り返って調べたり、予習・復習など学び直しがしやすいと思いました。個人的には高校に入ってから物理には苦勞したので、中学での基礎が大切で、振り返って学びやすい部分が良いと思いました。以上のことから教育出版を選びましたが、内容的には啓林館も良かったと思います。大変迷った結果、教育出版を推薦します。

池原教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員お願いします。

私は啓林館を推薦いたします。藤澤委員と重なりますが、各単元に1つある「探Q実験」は良いと思いました。巻末の「探Qシート」と合わせて活用することによって、まず自分で課題を立て、それに対する自分の考えと仮説を立て、実験方法も考えるという主体的な取り組みができるよう図られているのが良いと思いました。「みんなで探Qクラブ」では、単元学習の後に身近な物事に関する疑問について、学んだ知識や技能を生かして探究・解決していくことが目指されているのも良い試みだと思いました。「活用してみよう」「部活ラボ・お仕事ラボ・お料理ラボ・深めるラボ」の各コーナーでは、学んだ知識を実社会・実生活の事柄に関連づけられるよう図られていて生徒の学習意欲を高めるのに効果的だと思いました。「防災減災ラボ」では防災に関して当事者意識を持つことができるよう工夫されていました。全体として、身近な物事や課題から理科を学ぶ意義を実感させ、学習意欲を高め持続させる作りであると思いました。随所にQRコードを多く掲載し、動画も充実しているのも学びやすいと思いました。以上です。

池原教育長
田中 委員

ありがとうございます。田中委員お願いします。

結論を先に申し上げますと、啓林館を推薦いたします。他の教科書もそうですけれど、今、最重視されているのは、学力の三要素にあると思います。その中でも特に主体的な学びが一番問われているのではないかと思います。どうやって子どもたちの主体性を育むかということに力点が置かれているのが今の教育だろうと思います。塩野谷委員もおっしゃっていましたが、数学ほどではないにしても、理科嫌いの生徒は多いのではないかと思います。その中で各社工夫をしていますが、とりわけ啓林館は写真が圧倒的に美しいことがあります。現実の出来事と理科は密接に関与すると思いますので、写真はかなり重要な側面であると理解しています。さらには皆さんがおっしゃっていたことの繰り返しになりますが、「みんなで探Q

クラブ」や「探Qシート」は特徴的な項目を立てて、理科離れを食い止めたいという出版社の意図が明確に見えたような気がいたします。中でも「科学にアクセス」では、QRコードで見せてもらいましたが、かなり質の高い動画を掲載していると思いました。まだ今の時点ではスマホで見るということはないかもしれませんが、ゆくゆくはそういう時代になっていくだろうと思いますし、家庭学習の際に親御さんのスマホを使ったり、そのうち中学生もスマホを自由に使う時代が来るでしょうから、その時のためにも、質の高い動画が作られていることにはかなり意味があると思いました。理科に対して、総合的に学びの意欲を高めていく観点では、啓林館が他の教科書を超越しているように思いました。以上の理由から啓林館を推薦します。

池原教育長

ありがとうございます。最後に私からです。5社とも学習内容と日常生活の関連についての掲載を工夫している印象でした。教育出版では生徒が主体的に疑問を見つける活動を単元において設定しているところが評価できました。いずれの教科書も自由研究の記載はありますが、学校図書と啓林館は研究の方法や観察、実験レポートに関する記述が多い印象を受けました。また、主体的・対話的な学びとしては、啓林館において、「話し合ってみよう」「考えてみよう」「表現してみよう」という場面を設定しているところから啓林館を評価しました。また、大日本図書、教育出版も「話し合おう」というコーナーがあり、啓林館、大日本図書、教育出版に絞って検討しました。啓林館と大日本図書は、単元学習後にそれぞれ探究活動の設定があり、そのうち啓林館の方が探求活動のプロセスがより深い印象を持ちましたので、啓林館が良いと思いました。

塩野谷委員

各委員のご発言を伺っておりますと、啓林館というご意見が多いと思われま。塩野谷委員からは内容的には啓林館も良いけれど、どちらかというところと教育出版というご意見でした。いかがでしょうか。

池原教育長

決定的なポイントということではなかったもので、啓林館でも良いと思います。

各委員

それでは、皆様のご意見を総合いたしますと、理科の採択すべき教科書は啓林館というご意見で全員一致いたしました。

池原教育長

啓林館を採択することにご異議ありませんか。

異議なし。

ご異議がないようですので、採択理由を確認するため、暫時休憩いたします。

(休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

理科の採択につきましては、『「話し合ってみよう」「考えてみよ

う」「表現してみよう」を設けて、自ら考える場面や対話的な学びの場を確保する工夫がされていること。探究的な学習に主体的に取り組む活動として、各単元の一つ「探Q実験」を設定し、巻末の「探Qシート」と合わせて活用することにより、生徒の学習活動を支援していること。鮮明な写真を豊富に掲載し、文章、イラスト、図などが思考の流れに沿って見やすく配置されており、生徒が興味深く科学を学ぶことができるよう工夫されていること。「みんなで探Qクラブ」を設定し、単元の学習後に、身近な物事に関する疑問について、学んだ知識や技能を生かして、生徒自らが探究・解決していくよう配慮されていること。随所にQRコードを掲載し、リンクしたコンテンツで既習事項や学習内容を確認することができ、動画も充実していること。』などの理由により、啓林館を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
池原教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

次に音楽（一般）及び音楽（器楽合奏）の審議を一括して行います。

音楽につきましては、各種とも2種から採択を行います。

それでは、各委員から音楽（一般）、音楽（器楽合奏）の順にご発言願います。藤澤委員からお願いします。

藤澤 委員

音楽（一般）から述べたいと思います。教育出版を推薦します。教科書の題目が「音楽のおくりもの」となっていて、音楽の世界に誘うやさしい言葉になっているところが良いと思いました。音楽は様々な楽しみや癒し、生きる力をもたらしてくれるものだと思います。生徒の興味を喚起し、関心を高めるとともに、主体的に協働的に学ぶことができるように、教材の配列を工夫した「学びのユニット」を例示しており、教師にも生徒にもわかりやすい配慮がされていると思いました。全学年を通して我が国や郷土の伝統音楽を基盤にして、音や音楽と生活や社会の関わり、それらによる音楽の特徴や多様性を取り扱う構成となっていました。「Let's Sing!」や「Let's Try!」では表現するための技能をイラストや図を使って、わかりやすく説明していました。ウェブサイト「まなびリンク」が準備されており、「見る、聴く、記録する」で構成され、アクティブ紙面と教材の準備が難しいと考えられる紙面で使用できるような配慮がされていました。民謡の指導の部分で、より詳しい内容となっているように思われました。民謡の特徴として、北海道のソーラン節が拍節的リズム、江差追分が非拍節的リズムとして掲載されていました。日本の伝統音楽の雅楽、歌舞伎、文楽、能などや世界各国のオペラやバレエなど、日本だけではなく世界の音楽文化の紹介により、音楽の素晴らしさを伝えてくれています。日本と西洋の音楽のあゆみ

の年表の掲載は日本と西洋の音楽の歴史を対比できて、とても有用性があると思いました。ポピュラー音楽図鑑では、ブルース、ジャズ、フォークなど、代表する歌手が紹介されていて、鑑賞曲としても生徒が興味を持つものと思いました。もちろん日本の民謡も掲載されていますので、日本、世界と幅広くいろいろなジャンルが学べる教科書になっていると思います。くらしと音楽の関係として、音楽を通したアウトリーチ、教育活動、音楽療法は音楽が実際にくらしに役立っていること、コンピュータと音楽では、コンピュータを使って作る、歌ったり、演奏したり、鑑賞の学習ができますが、著作権とインターネットについては、注意しなければならない点が挙げられ、どちらもくらしと関わる例として良いものと思われました。以上の理由から音楽（一般）は教育出版を推薦します。

器楽合奏も教育出版を推薦します。リコーダーはアルト及びソプラノを用い、どちらでも学習ができるように配慮され、基礎的な奏法を楽しみながら、身につけられるようになっていきます。リコーダーの歴史、魅力も紹介されていて、演奏の仕方の説明が左手だけを使った演奏後に右手を加えるなど、上達させる工夫がされ、巻末に運指表もあり、丁寧に教えてくれていました。ギターを扱い、左手の使い方を写真やウェブサイト「まなびリンク」で分かりやすく提示し、基本的な奏法を身につけるように配慮されていました。ギターの歴史、魅力も紹介しています。巻末にギター&キーボードコード表もあり、丁寧に教えてくれると思われれます。和楽器については、篠笛、尺八、箏、三味線、太鼓を扱い、奏法を身につけるとともに、生活と社会との関連を図った教材が掲載されていました。それぞれの楽器の歴史、魅力も紹介されていました。全体の構成は「演奏の仕方を身につけよう」「合わせて演奏しよう」「名曲旋律集」の三群で構成され、カリキュラム・マネジメントに応じて、柔軟に教材を選択できるようになっていました。多様な楽器の組み合わせによるアンサンブル活動を多数掲載し、基本的な奏法を生かし、他者との協働で表現を工夫することから、主体的・対話的な学びが展開できる特色があると思われれます。学びに集中できるレイアウトや配色、見やすく読みやすい文字などに配慮されていました。

「Let's Play!」や「Let's Try!」では、易しい楽曲から難しい楽曲を掲載するなど、生徒の実態に合った楽曲で演奏が上達する工夫がされていました。以上の理由から教育出版を推薦します。

ありがとうございます。塩野谷委員お願いします。

音楽の一般と器楽合奏のどちらも教育出版を推薦します。一般の方は日本の古くから親しまれている曲から生徒のなじみやすい楽曲また外国の名曲も含め、幅広く取り扱っていて、興味を持って意欲的に学ぶことができるように構成されていること。また、日本古典

池原教育長
塩野谷委員

の各種音楽から西洋の交響曲など幅広く取り上げられており、いろいろな音楽文化に触れることができること。「学びのユニット」が設けられ、音楽を構成する要素が一見でわかるようになっており、複数の楽曲を比べるなどして「音楽的な見方・考え方」を身につけられると思いました。「日本と西洋の音楽の歩み」のコーナーでは、写真を掲載するなどして、古代・縄文時代から現代に至るまで、日本と西洋の歴史を説明しており、また、肖像で見る音楽年表で各音楽家の主要な作品と作曲時期を時系列に伝える工夫がなされていました。器楽についても、藤澤委員がおっしゃったとおりだと思います。以上の理由から、音楽一般、器楽合奏とも教育出版を推薦します。

池原教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員お願いします。

結論から先に申し上げますと、音楽一般、器楽合奏どちらも教育出版を推薦いたします。まず、一般の方は日本の伝統音楽に重きを置いた構成で、特に歌唱に関してはそうだと思いますが、全体としては幅広いジャンルの音楽を紹介していると思いました。2・3下では舞台芸術も写真付きで取り上げていて、見ていて楽しい構成になっていると思いました。また、日本各地の音楽・芸能や世界各地の伝統音楽も紹介し、多様な文化への理解を音楽とともに深める工夫がされていると思いました。様々なクラシックの名曲を取り上げており、曲の構成と曲想との関わりへの理解を促す作りになっているところが良いと思いました。「話し合おう」のコーナーでは、各曲についての感想やソネットと音楽の関わりについて感じたことなどを生徒同士で話し合う場面を設け、主体的対話的な活動ができるよう工夫されていると感じました。「音のスケッチ」のコーナーでは、日本語の言葉の響き、抑揚とメロディーとの関わりを、簡単ながらも自ら作曲させることによって理解できるよう工夫されているところは読んでいて面白いと感じました。

器楽合奏については、様々な楽器を取り上げ、各奏法が詳細かつわかりやすく紹介されていると思いました。また、多様なジャンルの演奏家のメッセージも紹介していて、演奏を通して人生を豊かにすることを伝えているところも印象的でした。前半は基本的な知識や技能について学ぶ内容で、後半は合奏について、また名曲旋律集を掲載し、各学校の実態や進み具合に応じて学べるよう工夫されていると思いました。また、紙面のみではわかりにくい尺八の音の出し方などは、「まなびリンク」にアクセスして動画で確認できるようになっているのも良いと思いました。以上です。

池原教育長
田中 委員

ありがとうございます。田中委員お願いします。

音楽の一般と器楽合奏の採択に関しては、こちらの力量が足りず難しいところもありました。今の中学生は吹奏楽部に所属しているケースもあると思いますので、どのくらいのレベルで音楽に親しん

でいるのか、私には今一つわからないところがあります。そこで一般の生徒を対象と考えた時に、2社の中では教育出版の方がより普遍的な印象を持ったことは確かです。我々の時代のことをこの場で話すのはいかなものかと思えますけれど、授業は嫌だけれど、音楽は好きだったという時代だった気がします。なぜかと言うと、教科書は楽譜ばかりだったとか、我々が好きな音楽はこういう音楽ではないということとか、学ぶことと音楽は少し違うということもあったかもしれません。そういうことを考えていった時に、音楽という教科に関して言えば、まず楽しくなければいけない、楽しむためには何が必要かということを中心に考えていました。教育芸術社の方が若干難しいのではないかという気がいたしました。教育出版の方は先ほど、どなたかおっしゃっていましたが、学びをユニット色で区別し構成していきやすくしている点とか、1年生では歌うための準備、姿勢や息のコントロール、発音などを明確に示しているところやディスカッションなどが行えるように配慮しているところ、2・3上では皆さんおっしゃっていましたが、様々なジャンルの音楽が取り入れられていること、特にポピュラーミュージック、ビートルズ、前回も入っていたかどうか忘れましたが、マイルス・デイヴィスが掲載されていたのには驚きました。CMソングを作る場面もあり、ある一定の音楽レベルの高い生徒だけの授業ではなくなっている感じがしました。日本文化の歌舞伎や文楽など様々な舞台芸術についても出されておりました。教育芸術社にも出ておりますが、より教育出版の方にインパクトがあるような気がいたしました。以上の理由から、音楽一般は教育出版を推薦したいと思えます。

同じく器楽合奏につきましても、同じ出版社が良いということが1点と、先ほど申し上げたように、あまり楽譜が多いと辛い気がします。興味・関心を引きやすいレイアウトの仕方や配色などが際立っていると思えたので、どちらも教育出版を推薦したいと思えます。

池原教育長

ありがとうございます。最後に私からです。はじめに音楽一般では、教育出版は表現と鑑賞の学習バランスに配慮した印象です。教育芸術社は前回からページが19ページ、24%増となっており、内容の充実が図られたように感じました。生徒が興味や関心をもって学習することができるよう地域の実態などを生かした指導が求められていること、また、郷土の音楽の良さを味わい、愛着を持つことができるよう工夫することが求められていることから、北海道に関する内容や日本の伝統的な歌唱等を扱う箇所数が多い教育出版を評価しました。教育芸術社もアイヌ古式舞踊について掲載されていますが、全体を通して教育出版の方が充実しているため、教育出版が良いと思えました。

次に器楽合奏ですが、いずれの教科書も評価できますが、音楽の一般教科書と同様、生徒の音楽への興味や関心、郷土への愛着を持つことができる工夫の観点から、北海道に関わる内容や和楽器の取り扱いなどの箇所数が多い教育出版が良いと思いました。

皆さんのご意見を総合いたしますと、音楽（一般）及び音楽（器楽合奏）の採択すべき教科書は教育出版という意見で全員一致しております。

教育出版を採択することにご異議ありませんか。

異議なし。

ご異議がないようですので、採択理由を確認するため暫時休憩いたします。

（休憩）

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

はじめに、音楽（一般）の採択につきましては、『巻頭には、教材の排列が一目で分かる「学びのユニット」を掲載し、音楽を構成する要素について系統的に掲載され、生徒の興味・関心を高め、見通しを持って学ぶことができるよう工夫されていること。全体として幅広いジャンルの音楽を紹介しており、歌舞伎や文楽の説明、様々な舞台芸術、肖像画など、バラエティに富んだ内容となっていること。「話し合おう」では、各曲についての感想や、ソネットと音楽の関わりについて感じたことなどを話し合う場面を設け、主体的・対話的な活動ができるよう工夫されていること。「Let's Sing!」や「Let's Try!」では、表現するための技能をイラストや図を使って、分かりやすく説明していること。北海道に関わる内容が多く掲載され、郷土の音楽の良さを味わい、愛着を持つことができるよう工夫されていること。』などの理由により、教育出版を採択することにご異議ありませんか。

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

次に音楽（器楽合奏）の採択につきましては、『多様な楽器の組み合わせによるアンサンブル活動を多数掲載するとともに、基本的な奏法を生かしながら、他者との協働作業などを通して、主体的・対話的な学びが展開できるようになっていること。和楽器については、篠笛、尺八、箏、三味線、太鼓などの奏法を紹介し、紙面のみでは分かりにくい尺八の音の出し方などは、「まなびリンク」にアクセスして動画で確認できるようになっていること。様々な楽器を取り上げ、各奏法が詳細かつ分かり易く紹介されているとともに、多様なジャンルの演奏家のメッセージも紹介し、演奏を通して人生を豊かにすることを伝える内容になっていること。北海道に関わる内容も

各 委 員
池原教育長

各 委 員
池原教育長

掲載され、生徒の音楽への興味・関心、郷土への愛着を持つことができるよう工夫されている。』などの理由により、教育出版を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
池原教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

次に美術の審議を行います。

美術につきましては、3種から採択を行います。

それでは各委員からご発言願います。藤澤委員お願いします。

藤澤 委員

美術は日本文教出版を推薦します。1年生の教科書の巻頭に「中学校美術の世界へようこそ」で小学校での図画工作から美術1の美術との出会い、美術2・3上の学びの実感と広がり、美術2・3下の学びの探究と未来と美術の学び方の道筋が示されていたのが良かったと思います。「造形的な視点」や「学びの目標」、教科書の使い方方を共有し、生徒が主体的に学習に取り組むことができるように工夫されていました。他教科との関わりのある題材を設定しており、第1学年では「自然の美しさから生まれた」の題材において、雪の結晶や蜂の巣のハニカム構造を紹介し、理科との関連を写真などで示したり、第2・3学年では「魅力を伝えるパッケージ」の題材において、お祝いの気持ちを伝える水引を紹介し、外国語科との関連を写真で示すなど、教科などが横断的に学習できるような配慮がされていました。屏風、仏像、浮世絵など伝統文化に関わる作品を多く取り上げ、また、伝統工芸や日本の伝統色、美意識などを取り上げて、アイヌ、沖縄文化や外国の作家作品、アール・ブリュットの作品など、伝統文化、多様性の尊重と国際理解を意識して、様々な作品を取り上げていました。SDGsなど持続可能な社会の担い手として、成長すべき点や生命の多様性・共生に関連する作家作品などを取り上げ、社会の持続可能な発展への関心を高める工夫もされていました。A4ワイド判が使用されていて、作品や写真をより大きくインパクトを持たせて掲載し、生徒の興味・関心を引き出す工夫がされています。表紙は美しい光沢と耐水性のあるコーティングを施し、丈夫で水濡れに対しても耐久性があると思いました。各学年に両観音開きのページが設けられ美術作品を大画面で鑑賞できるようになっていて、屏風、ゲルニカ、浮世絵が素晴らしかったと思います。個人的には1年生の表紙、ヨハネス・フェルメールの「真珠の首飾りの少女」は大好きな作品なので、それも含めて日本文教出版を推薦します。

池原教育長
塩野谷委員

ありがとうございます。塩野谷委員お願いします。

美術は絵や彫刻、デザインや工芸などの学びを通して、感性や想像力を働かせ、そしてまた、創造力を養うことにつながると思います。これは、AIに取って代わることのできない領域で、未来を生

きる生徒たちにとっての資質・能力としても重要であると考えます。3社とも評価できる内容でありますけれど、日本文教出版を推薦します。先ほど藤澤委員からお話があったように、A4ワイド版を採用し、著名作家の多くの作品を掲載していました。それらの作品に触れることは、美術文化への関心・見方が広がり、感じ方を深めることができ、後にそれが生きてくると思います。教科書1で美術の出会いをベースに、2・3上で学びの実感と広がり、そして2・3下で学びの探求と未来へと発展させていくことにより、豊かな感性を育み、よりよい人生を送るとともに、社会を創造していく力が育まれていくことを目指して構成されていると思いました。最後に表紙のフェルメールは私も好きな絵で、かなりインパクトがあって良かったと思います。以上の理由から日本文教出版を推薦します。

池原教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員お願いします。

私も日本文教出版を推薦いたします。まず、1の冒頭で3年間の成長地図を見開きで掲載し、主な生徒作品を紹介し、3年間の見通しを持たせるとともに生徒の学習意欲を引き出す工夫がされていると思いました。また、言語活動や理科、国語など、他教科や様々な学習要素と関連づけているところは学習の広がりを持たせる上で効果的だと思いました。身近なものや生活の中から美しさを見つけ、美術の学びに結びつける工夫が多いところも好印象でした。様々な表現方法を紹介し、生徒の制作意欲を掻き立てる工夫がされているところも良いと思いました。また、アーティストの実際の制作過程を発想・構想段階から順に追って紹介することにより、美術を鑑賞する上で、より多角的な見方を促すとともに、制作意欲も掻き立てる紙面づくりがされているのも良いと思いました。2・3上の「美術の力で課題を解決する」というコーナーでは、貧困や障害をも克服する美術の力について、自ら主体的に考えさせる内容になっていました。全体的に鮮やかで大判のためか、メリハリのあるレイアウトで、写真も美しく、生徒の制作意欲や美術への興味を引く工夫がされていると思いました。以上の理由により日本文教出版を推薦します。

池原教育長
田中 委員

ありがとうございます。田中委員お願いします。

日常のありとあらゆるところに美術が存在しているということが美術の科目の一番大きな特色になっていると思います。いつ頃からそうなったのかと考えた時に、たとえばかつて帯広で開催された「デメーター」辺りから現代アートが話題になって、その頃から日常と美術の連続性のようなものが考えられてきたのではないかと思います。かつては子どもたちの描いたものと歴史的な芸術は全く違うものでした。確かに違うのでしょうけれど、そこに大きな溝があるわけではないことを生徒にどれだけわかってもらえるかが美術の大

きなテーマになるだろうと思いました。かつてまったく芸術とは無縁であった漫画、アニメ等のサブカルチャーを始めとして、最先端のテクノロジーもある意味、芸術作品として位置づけることもこの教科書から見えてきます。写真を見て美しく飽きがこないのも、この教科では大きなテーマになるだろうと思えます。このような視点から日本文教出版を推薦したいと思えます。繰り返しになりますけれど、1年生ではジブリアニメの背景画から入って、生徒の敷居を下げることに成功していること、表紙のフェルメールや阿修羅像、ガウディ、ゲルニカなどの質の高いものから始まり、ゴッホ、モネ、岡本太郎、現代アート、一転して浮世絵、SDGs、ブックカバー、パラリンピック用の器具、さらに奈良美智、草間彌生など、多種多様で現代作家を含めたあらゆるアーティストを幅広く掲載しているのが日本文教出版だと思いました。チームラボも掲載されていて、昨年、帯広で開催されたので、なじみが深いと思いました。絵画の修復関係やプロジェクション・マッピングについても掲載されていました。繰り返しますけれど、ありとあらゆる日常生活に連続しているものすべてが美術であるという観点から作られているのが日本文教出版だと思いました。そのような理由から日本文教出版を推薦したいと思えます。

池原教育長

ありがとうございます。最後に私からです。開隆堂は生徒が美術に興味や関心を高め、豊かに関わることができる力を育てるだけでなく、美術と社会との関わりを考えることにも留意したことは評価できると思えます。また、光村図書は豊かな感性を育み、表現することの喜びを感じることを基本にしており、その考えは評価できます。最終的には日本文教出版が生徒自身の身の回り、生活や社会とつながる美術の学びを意識しており、美術の学びにより新しい価値を創造していくことを目指していることが評価できるため、日本文教出版が良いと思いました。

皆様のご意見を総合いたしますと、美術の採択すべき教科書は日本文教出版というご意見で全員一致しております。

日本文教出版を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
池原教育長

異議なし。

ご異議がないようですので、採択理由を確認するため、ここで休憩いたします。

再開を15時といたします。

(休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

美術の採択につきましては、『巻頭では3年間の学びが説明されており、各単元では「造形的な視点」や「学びの目標」を分かりや

すく示すなど、生徒が見通しを持ち、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されていること。A4ワイド判が使用され、著名作家の多くの作品や写真を、大きくインパクトをもたせて掲載しており、美術文化への関心、見方、感じ方を深めることができるように配慮されていること。美術と身の回りの生活のつながりを学ぶ学習を通して、生徒自身が新しい価値をもった作品を創造していこうとする意欲を高めることができるように工夫されたつくりとなっていること。アーティストの制作過程を、発想、構想段階から紹介することにより、多角的な鑑賞を促すとともに、生徒の制作意欲をかき立てる工夫がされていること。ピカソのゲルニカをはじめとした有名な作品が掲載されているほか、修復への視座、プロジェクション・マッピングなど、多岐にわたる内容構成となっていること。』などの理由により、日本文教出版を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
池原教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

次に保健体育の審議を行います。

保健体育につきましては4種から採択を行います。

それでは、各委員からご発言願います。藤澤委員からお願いします。

藤澤 委員

保健体育につきましては、大修館書店を推薦いたします。「この教科書の使い方」「保健体育の学び方」として、どのように学ぶかが示されていて、保健体育の学習の進め方が分かるようになっていました。「学校生活を健康という視点から見よう」など、子どもたちが健康を身近に感じる工夫がされていると思いました。保健分野については、健康の考え方、健康の成り立ちで健康は主体（自分自身）と主体を取り巻く環境の両方が良好な状態であるときに成り立つことが分ると説明されていて、改めて健康とは何か深く考えさせられるようになっているのが良いと思いました。「傷害と防止」については、交通事故の背景や犯罪の危険なども資料を活用しながら学習し、日常的な事件事故の予防や応急手当、自然災害の対応などの理解が深まるように工夫されていました。特に自然災害が多い今日では有用性があると思いました。体育分野については、「ゆるスポーツ」「超人スポーツ」など新しい視点で運動やスポーツに親しむための関わり方や楽しみ方、運動と脳や心との関係やオスグッド・野球肘などの具体例でスポーツ障害にも触れ、スポーツの危険や対策についても理解を深めることができる工夫がされていました。「課題をつかむ」で身近な題材から何を学ぶかを感じさせ、「きょうの学習」で学ぶことを確認し「学習のまとめ」で振り返りを行い、学習内容の定着を図っていました。本文に資料①やコラムなどが示され

ており、系統的・発展的学習ができるように工夫がされていました。口絵にダウン症の書家である金澤翔子さんを採用するなど、随所に障害者について取り上げ、「共に生きる」というテーマを感じさせる構成になっていました。巻末資料で新体力テストの測定項目と測定方法が掲載されていて、新体力テストの正しい行い方を理解し、自分の体力の状態を調べることができるようになっていたのも良かったと思いました。口絵3に高木美帆さんを採用し、十勝出身者を題材にスポーツに親しむ大切さが示されていました。欄外に「WEB保体情報館」「ほり下げる」として、ウェブサイトから参考となる情報が調べられる工夫や本文中に出てくる言葉などを詳しく解説しているのも良いと思いました。以上の理由から大修館書店を推薦したいと思います。

池原教育長
塩野谷委員

ありがとうございます。塩野谷委員お願いします。

私も大修館書店を推薦します。テーマごとに「つかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」の順番で構成し、学び深めるようになっていくこと。本文に資料やコラムなどを挿入し、系統的・発展的に学習ができるような工夫があること。体育や保健の見方・考え方を生かして運動や健康・安全についての知識を身につけ、また、その知識を使えるよう振り返りながらまとめられるような工夫があること。心身の発達と健康のもと、運動やスポーツを楽しく豊かに行う資質や能力を育てるという目標に合っていると思い、大修館書店を推薦します。

池原教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員お願いします。

私も大修館書店を推薦します。まず、「課題をつかむ」のコーナーで、身近な物事や疑問から当該学習内容へといざなっている構成が良いと思いました。様々な立場の人の体験談やメッセージを多く掲載し、生徒自ら考えを深める工夫がされていると思いました。心身の発達や薬物依存、生活習慣病等については、科学的なデータやグラフが多く用いられ、詳細かつ分かりやすく根拠を示して説明されているところが良いと思いました。心肺蘇生法や応急手当について、その必要性から丁寧に説明されており、その手順・方法が詳細かつ、わかりやすく示されているところが良いと思いました。体育分野では、藤澤委員もおっしゃっていましたが、「ゆるスポーツ」「超人スポーツ」といった新しい形のスポーツが紹介されて、スポーツの楽しみ方に新しい視点をもたらすよう工夫されていると思いました。また、性の発達、スポーツについては、男女平等・ジェンダーについて細かな配慮がされた記述が複数見られたところは、とても好印象でした。以上の理由により、大修館書店を推薦します。

池原教育長
田中 委員

ありがとうございます。田中委員お願いします。

4社を比較して決定的な差があるとは思いませんでしたが、私は

学研教育みらいを推薦したいと思います。理由の1つは、ディスカッション、ブレインストーミング、そして、実験・実習などの学び方の明示がはっきりしているということ。どの教科書もそうですけれど、コラムの質が特に高かった印象を持ちました。それから、佐々木委員からもお話がありましたが、LGBTの用語を明確に書いてあるのは学研教育みらいだけだったのではないかと思います。「ひと」という欄の中で、NPO法人の村木真紀さんが出ていて、LGBTの言葉の説明が下にありました。保健体育の場合、学研教育みらいが写真のリアリティが一番あるように思いました。以上です。

池原教育長

ありがとうございます。最後に私からですが、4社とも運動と日常生活の関わりのほか、日々の生活が健康とどう関係しているか、生活習慣、交通事故、防災、犯罪被害、感染症、環境問題など、今日的課題と関連づけた学習となっていると感じました。がんの予防について、大日本図書、大修館書店、学研教育みらいは家族や身近な人に向けて、どう広がりを持たせた啓発ができるかという視点から考える活動を掲載していますが、その中でも大修館と学研教育みらいでは具体的に家族へメッセージを送ることを提案している掲載があります。田中委員からもご発言がありましたが、LGBTについては、その掲載があるのは学研教育みらいで、東京書籍は性の多様性という掲載になっていました。また、心の発達の社会性という観点では、大修館書店と学研教育みらいで、友達との人間関係に関して具体的な例題を基に、相手に伝えることを考える掲載がありますが、学研教育みらいは、いろいろな場面を想定している点で評価できることから、総合的に学研教育みらいが良いと思いました。

各委員のご発言を伺っておりますと、大修館が3人、学研教育みらいが2人でご意見が分かれています。田中委員は他の委員のご意見を聞いて、いかがでしょうか。

田中 委員

おっしゃるとおりだと思います。先ほども申し上げましたが、ほとんど差はないと感じておりましたので、大修館書店でも異論はございません。

池原教育長

私も学研教育みらいを推薦しました。大修館書店と甲乙つけ難いところがございましたが、LGBTの記載があったことで最終的には学研みらいを選びました。佐々木委員のご発言にもありましたように、大修館書店も性意識の個人差だとか、性の尊重について触れられていたことから、ご意見が多かった大修館書店ということで私も異論はありません。他に何かご意見はございますか。

各 委 員

ありません。

池原教育長

それでは、皆さんのご意見を総合しますと、保健体育の採択すべき教科書は大修館書店というご意見で全員一致いたしました。

大修館書店を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
池原教育長

異議なし。

ご異議がないようですので、採択理由を確認するため、暫時休憩いたします。

(暫時休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

保健体育の採択につきましては、『「この教科書の使い方」「保健体育の学び方」として、「どのように学ぶか」が示されており、保健体育の学習の進め方が分かる工夫がされていること。本文に資料やコラム、様々な立場の人の体験談やメッセージなどが掲載され、読み物資料を読むことで発展的に学習できるような工夫があること。性の発達、男女平等、ジェンダーについて細かな配慮がされた記述が複数見られること。「ゆるスポーツ」「超人スポーツ」など新しい視点で運動やスポーツに親しむための関わり方や、楽しみ方が示されていること。薬物依存、生活習慣病などについては、科学的なデータやグラフを多く用いて詳細かつ分かりやすく説明されていること。欄外「WEB保体情報館」では、ウェブサイトから参考となる情報を得ることができるようになっており、「ほり下げる」では本文中に出てくる言葉などを詳しく解説するなど、生徒にとって学習の参考となる情報が豊富であること。』などの理由により、大修館書店を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
池原教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

次に技術・家庭（技術分野）及び技術・家庭（家庭分野）の審議を一括して行います。

技術・家庭につきましては、各種とも3種から採択を行います。

それでは、技術分野、家庭分野の順にご発言願います。藤澤委員からお願いします。

藤澤 委員

まず、技術分野は開隆堂を推薦します。巻頭に技術分野の学習を始める前にとして、技術・家庭科「技術分野」では「A 材料と加工の技術」、「B 生物育成の技術」、「C エネルギー変換の技術」、「D 情報の技術」の四つの技術の内容について学習しますとあって、生活や社会などで照明器具として利用されているLEDを通して、それぞれの内容が説明されていて、学習の見通しが持てるようになっています。「材料と加工の技術」において、製図の部分では、QRコードを読み取って、インターネットに接続することで、書き方を確認できるようになっていました。実習例では身近な問題の発見で日常生活の課題を解決することができる工夫がされておりました。「生物育成の技術」においては、森林の育成技術が詳細に説明されており、日本の森林資源とその状況を知ることができるよう

なっていて、実習例では評価・改善の部分で、出荷基準の例が示されており、生徒が評価・改善のしやすいように工夫されていました。「エネルギー変換の技術」において、1章では省エネルギーについて詳細に説明されており、環境と関連が考えやすいようになっています。また、電気機器の安全な利用については、情報量が多く家庭でも点検しやすくなっていました。巻末にはコンピュータの基本操作が詳細に説明されていて、プログラミングの説明もありました。各編の始めに、各内容に関する「技術の歴史」を設けていたり、各見開きの下に「豆知識」を設けたりなど、学習意欲を高める工夫がされていました。使用上の便宜については、各ページの上段に見出しをつけている内容が読み取りやすくなるように、文章や紙面の配置などに配慮されていると思いました。以上の理由から開隆堂を推薦します。

続きまして、家庭分野も同じく開隆堂を推薦します。3本の柱を基本とした教科書になっていました。1つ目は自立と共生をめざす教科書として、生きる力、生活的自立、他者との共生、性の平等、2つ目は持続可能な社会の実現に向かう教科書として、自然との共生、人権尊重、公平・公正、3つ目は命と暮らしを守るための教科書として、命の尊重、安全・安心な社会の実現、生活文化という編集になっており、家庭分野の学習定着が図られるための様々な工夫がなされ、バランスが良いと思いました。内容の構成・排列については、3年間の学習の見通しを立てさせるため、巻頭にガイダンスを設けるとともに、「わたしの生活と家族」で基礎的・基本的な知識及び技能を身につける学習を行った後に、「家庭生活と地域で活動」で家庭生活と地域の総合の関わり方について学習するなど、系統的・発展的に学習できるような配慮がされていました。「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「先輩からのエール」「豆知識」などを掲載したり、中学生キャラクターや学習案内キャラクターを活用したりするなど、生徒の学習意欲を高める配慮がなされていました。学習のまとまりごとに、基礎・基本の定着を図る「ふり返し」や学んだことを実生活につなげる「生活にいかそう」を位置づけるなど、主体的に学習に取り組むことができるような配慮がなされていました。子どもの手形・足形や食品などの実物大写真を掲載したり、全ての生徒が学習しやすいようユニバーサルデザインフォントを使用するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、QRコードを掲載するなど、使用上の便宜が図られていました。地震、噴火、雪害など北海道に関わる内容も掲載されていました。以上の理由から開隆堂を推薦したいと思います。

池原教育長
塩野谷委員

ありがとうございます。塩野谷委員お願いします。

3社ともそれぞれに技術分野についての目標はカバーされている

と思います。インターネットを活用したコミュニケーションや情報技術は、今後さらに社会や生活を支える重要な役割を果たしていく分野であると思います。そこで情報と技術に重点を置いて3社を読み比べた結果、開隆堂を推薦したいと思います。1つにはコンピュータシステムの構成、ハード並びにソフトの基礎的なこと、内部構造などの説明がありました。メモリーとストレージの働きや情報を処理する手順などプログラミングに必要な基本的内容もわかりやすく説明がされていました。通信ネットワークやWEBの仕組みなどもわかりやすく、また、巻末にはコンピュータの基本操作も詳細に説明がされていました。東京書籍も良かったのですが、情報分野においては、今後、日常生活で使っていく社会になっていきます。そういった社会のしくみを作っていくことを意識した場合に開隆堂の方が良いと思いました。

家庭分野は3年間の学習内容がイメージできるよう巻頭にガイダンスを設けていて、また、学習のまとめりごとに学習内容を振り返り、確認して、学んだことを実生活につなげる「生活に生かそう」など、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がある東京書籍を選択しました。料理については、全くの素人である私にとっても、実習の衛生と安全をはじめ、包丁の持ち方・切り方などの基本的なことから、肉をやわらかくする方法などの説明もあり、分かりやすく使いやすい教科書であると思いました。このような理由から東京書籍を選択しましたが、技術分野との関連から、開隆堂も良いと思いました。一緒がいいのか、別々でもいいのか迷ったところです。以上です。

ありがとうございます。佐々木委員お願いします。

技術分野については開隆堂を推薦します。冒頭で各作業における安全の心得が丁寧に説明されていること。また、学習の流れがマンガ形式でわかりやすく説明されているところは取っ掛かりとしては良いと思いました。巻末資料では、塩野谷委員もおっしゃっていたとおり、コンピュータの操作とプログラミングについて丁寧に説明されているところが好印象でした。「技術分野での問題解決を振り返ろう」のコーナーでは、これまでの学習内容を振り返り、SDGsに貢献する各技術と学習内容がいかに関わってくるかを自ら再確認し、未来のために自ら技術と主体的に関わろうとする態度が養えるよう図られているところが良いと思いました。また、随所にQRコードが多く掲載され、各素材の加工技術や製図、エネルギーや電気のしくみといった科学的で複雑な説明などを動画でわかりやすく行っているところが学習に資するのではないかと思います。

次に家庭分野についても開隆堂を推薦します。冒頭のガイダンスが12ページにもわたり、家庭科を学ぶ意義、SDGsとの関りを

池原教育長
佐々木委員

確認し、教科書の構成を示すことによって学習過程が具体的にイメージできるようになっているところが良いと思いました。科学的に考える力を養うため、随所に手順について「なぜそうするのか」を科学的根拠とともに説明がされており、それに関わる資料や図も多く示されており、例としては健康に良い食習慣などについても科学的根拠とともに資料を示して説明されているところが良いと思いました。また、一日に採りたい食品と分量では、実物大の食品が写真で掲載されていて、これだけ採りましょうということが実感としてわかりやすくなっているところも良いと思いました。4の「家庭生活と地域のかかわり」では、多様な人々が暮らす社会の中で、より良い暮らしができるようにするために、自分ができること、家庭科で学ぶべきことを主体的に考える内容になっているところもとても良いと思いました。その流れでLGBTについても取り上げているところも良いと思います。技術分野もそうでしたけれど、QRコードが多く用いられ、調理手順やミシンの使い方などが動画でわかりやすく説明されておりとても良いと思いました。以上です。

池原教育長
田中 委員

ありがとうございます。田中委員お願いします。

技術分野、家庭分野とも東京書籍を推薦したいと思います。技術分野につきまして、東京書籍を推薦した一番の理由は、主体的な学習方法が明確になっているということ。今、社会の中では当たり前な方法であるブレインストーミング、KJ法などについて具体的に書き込まれていること。GAPについての説明もあり、さらには北海道新幹線の記載がありました。これからの未来に向けて、どうやって明るい未来を構築していくかということが一番色濃く出していたのが東京書籍だったという印象を持ちました。

家庭分野についても同じく東京書籍を推薦しますが、開隆堂と悩みました。東京書籍は自立と共生というテーマがかなり明確に打ち出されており、また、教科書に直接書き込むことを示唆する作りになっており、主体性につながると思いました。何より東京書籍が意識的に構成していたのは章立てが違っている点で、食生活から家族、地域活動へと、確か他の2社は違う形にしていました。食という個があって、家族があって、地域活動へという方が順序立てという点では流れがスムーズかと思えます。また、食生活から始めていくことは、帯広というフードバレーをめざしている地域にあっては妥当という点、そして、小中学校で「おびひろ市民学」を打ち出しているこの地域にとっては至極当然だと考えました。もう1点、家庭分野については写真もポイントだと思いました。主観ですけど、食べ物の写真が美味しそうに見えたのが東京書籍だと思えました。全体的にはバランスが良く、バラエティに富んでいて、個人的にはずっと持っていたいと思える家庭事典のような教科書に思えま

した。P D C Aのサイクルについて明確に打ち出していたのも東京書籍で、我々にとってはごく当たり前の思考法ですが、これを早いうちから出しているのも素晴らしかったと思います。

池原教育長

ありがとうございます。最後に私ですが。技術分野では3社とも問題解決的な学習を重視しており、また、学習の流れとして、東京書籍は「はじめの活動」や「まとめの活動」、教育図書では「見つける」「学ぶ」「ふり返る」の3つのステップを設定しています。いずれの教科書も活動を生活に生かすことを視点にしていますが、開隆堂では「導入課題」や「学習のまとめ」を掲載しており、また、他の委員の方からもご発言がありました。QRコードのわかりやすさなどもあり、開隆堂が良いと思いました。

次に家庭分野ですが、3社とも学習のまとまりごと、振り返りと実生活につながる構成となっています。いずれも違いがあまり見られない印象です。家族との関わりの分野においては、ロールプレイングをして、シナリオの例に基づき、それぞれの役割になりきって演じることによって、家族の立場や役割について理解する活動の掲載がありますが、地域との関りに関して、ボランティア活動など、具体の取り組みや活動の掲載が生活に直結している点で開隆堂が良いと思いました。

各委員のご発言を伺っておりますと、技術分野につきましては、開隆堂というご意見が多いと思われま。田中委員は他の委員のご意見を聞いていかがでしょうか。

田中 委員
池原教育長

残念ですが、仕方ありません。開隆堂で異論はありません。

次に家庭分野につきましては、開隆堂が3人、東京書籍が2人のご意見が分かれております。田中委員と塩野谷委員はいかがでしょう。

田中 委員
塩野谷委員

こちらはもっと残念ですが、異論はありません。

技術分野は開隆堂だと思いましたが、家庭分野においては迷いました。開隆堂も良かったけれど、どちらかという東京書籍を選択しましたので、開隆堂で異論ありません。

池原教育長
藤澤 委員

他の委員はいかがでしょう。

家庭分野に関しては、写真など、美味しそうに見えたこともあり、東京書籍とは思いましたが、技術分野では開隆堂を推薦した関連から開隆堂を選びました。どちらも良かったという感覚です。

池原教育長

それでは皆様のご意見を総合いたしますと、技術・家庭（技術分野）及び技術・家庭（家庭分野）の採択すべき教科書はいずれも開隆堂というご意見で全員一致いたしました。

開隆堂を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
池原教育長

異議なし。

ご異議がないようですので、採択理由を確認するために、暫時休

憩いたします。

(暫時休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

はじめに技術・家庭（技術分野）の採択につきましては、『各編の始めに、内容に関する「技術の歴史」や、各見開きの下に「豆知識」を設けるなど、学習意欲を高める工夫がされていること。コンピュータの内部構造などの説明があり、メモリーとストレージのはたらきや、情報を処理する手順など、コンピュータの基本的な内容が分かりやすく説明されていること。「技術分野での問題解決を振り返ろう」では、これまでの学習内容が、どのように持続可能な社会の貢献に関わってくるのかを確認できるようになっており、未来のために技術分野に主体的に関わろうとする態度が養えるよう図られていること。随所にQRコードが掲載され、加工技術や製図、エネルギーや電気といった科学的で複雑な説明を、動画で分かりやすく学ぶことができるよう工夫されていること。巻末資料では、コンピュータの基本操作とプログラミングについて詳細に説明されていること。』などの理由により、開隆堂を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
池原教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

次に技術・家庭（家庭分野）の採択につきましては、『巻頭のガイダンスで教科書の構成を示すことにより、生徒が見通しを持ちながら系統的・発展的に学習できるよう、配慮がされていること。「環境」「防災」「伝統文化」などのマークや「先輩からのエール」「豆知識」などを掲載し、中学生キャラクターや学習案内キャラクターを活用するなど、生徒の学習意欲を高める配慮がなされていること。科学的に考える力を養うため、随所に「なぜそうするのか」を科学的根拠をもとに説明しており、それに関わる資料や図も多く示されていること。地域との関わりに関し、ボランティア活動など、具体の取組や活動の内容が生徒の生活に直結しており、身近に感じられる工夫がされていること。実物大の写真を示しながら、一日に必要な栄養量を示すなど、生徒にとって具体的にイメージしやすく、理解しやすい構成となっていること。QRコードが多く用いられ、調理手順やミシンの使い方などが動画で分かりやすく説明されていること。』などの理由により、開隆堂を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
池原教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

次に英語の審議を行います。

英語につきましては、6種から採択を行います。

それでは、各委員からご発言願います。藤澤委員お願いします。

藤澤 委員

結論から申し上げます。東京書籍を推薦いたします。巻頭に英語を学ぶ意義が掲載され、「英語を学ぶと、英語を話す多くの人たちとよりよいコミュニケーションをはかることができます。コミュニケーションを行うときには、目的や場面、状況に合わせる事が大事です」という記載があり、英語を学ぶ意欲につながり、生涯にわたって学び続ける姿勢にもつながると思いました。1年生のUnit 0で小学校の学習のふり返し、2年生のUnit 0で1年生の学習のふり返し、3年生のUnit 0で1・2年生の学習のふり返しで復習ができて、学習の定着が図られると思いました。1年生においてはUnit 1からUnit 5で小学校の学びを発展させ、小学校から中学校への円滑な接続を図るため、文法事項を取り混ぜながら、音声から文字へと進展させているのが良いと思いました。英語学習のポイントやコツを系統的に取り上げる「学び方コーナー」や「Key sentence. Today's Point 一覧」を設けたり、巻末に「学習をふり返ろう-CAN-DOリスト」を掲載したりするなど主体的に学習に取り組むことができるような工夫がされていました。全ての生徒にとって読みやすいフォントや鑑別しやすい配色を用いるとともに、1人1台端末を活用した学習活動として「Dマーク」を掲載するなど使用上の便宜が図られていると思いました。「扉」→「Preview」→「Story」等、気づきを促し、考えを深めるための工夫された構成・排列になっているのも良いと思いました。各Unit内でステップを踏んだ段階的な構成を工夫し、学習した内容を使ってのパフォーマンス活動をUnitの最後に配置することで、学習の確認と評価ができるようになっており工夫が感じられました。北海道に行くことについての対話を位置付けたり、北海道に生息する動物、シマフクロウ、タンチョウを取り扱ったりするなど、生徒の興味を引き、学習意欲を高める工夫もされていました。3年生のUnit 1からUnit 6でSDGs持続可能な世界を実現するための内容を取り上げているのも良いと思いました。以上の理由から東京書籍を推薦したいと思います。

ありがとうございます。塩野谷委員お願いします。

池原教育長
塩野谷委員

小学校高学年から教科化になったためか、中学英語は以前より内容が難しくなっていて、単語数もかなり増加している印象があります。読む、聞く、書く、話すの4技能のうち、聞く、話すで互いの考えや気持ちを伝え合うという会話形式の活動を各社とも重視されており、使える英語が身につけられるよう各社とも工夫されていると思いました。例えば、教育出版では「Activities Plus」を並行して行うことで、レッスンで学習した表現や文をさらに自由に活用

して、そのレッスンを自分のものにすることができる工夫がありました。東京書籍では幅広い題材を取り上げ、英語学習への意欲を高めるような構成になっていました。各社それぞれの工夫があり、1社に絞り込むのに悩みました。結論としては、今年から小学校で英語が教科化になったことから、小学校からの連携を考えて、小学校で現在使用している教科書と同じ東京書籍を推薦したいと思います。

池原教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員お願いします。

6社を比較して、三省堂と東京書籍が良いと思いましたが、結論から申し上げますと、東京書籍を推薦いたします。まず、「学び方コーナー」や「Grammar for Communication」では、基礎・基本となる文構造や文法を確実に習得し、それらをコミュニケーションに活用できる力をつけられるよう工夫されているところが良いと思いました。「Stage Activity」では、様々な状況や目的を設定し、自分の考えや伝えたい事柄を英語で表現する力をつけられるよう工夫されていました。「Story」や「Let's Read」では、まとまった筋を持つ文章を読み解くことで、楽しみながら無理なく読解力をつけられるよう図られていました。「Let's Listen」では、ラジオDJのトークなどの聞き取りを通して、大まかにでも内容を捉えられるよう図られています。また、その中の「Sound Box」では、英語特有の音のつなげ方など、聞き取りのための実践的なコツが紹介されているのが良いと思いました。全体として、コミュニケーション能力の養成に重点を置きつつも、書く力、話す力、読む力を万遍なくつけられるよう、バランスよく編集されている印象です。3年生では自然保護、障害者スポーツ、原爆投下やオバマ前大統領の広島訪問、地震などの災害、在日外国人支援など、より社会と自身との関りを意識しながら、英語を学べるようになっているのはとても良いと思いました。以上の理由により、東京書籍を推薦します。

池原教育長
田中 委員

ありがとうございます。田中委員お願いします。

実は今回の教科書採択の中で一番悩んだ教科は英語でした。塩野谷委員も言われたように、小学校から英語が新教科になったからだと思いますが、どの教科書もかなり難しくなっている印象です。小学校でどのような英語の授業を行っているのか、今年は公開研究会を拝見できないのでわかりませんが、中学校へ行って、この難しい教科書を理解し、スムーズに進めるのだろうかという率直な心配がありました。今までは中学校で初めて習う語学で、その前に仮に塾へ行ったとしても、コミュニケーションというよりはグラマー系を中心にした勉強だと思いますので、事情は違ってくると思いますが、いずれにしても中学校へ入ってゼロからのスタートとなるわけです。小学校からスタートして、論理的に言語として学ぶという意味では中学校が初めてだろうと思うわけです。そこにコミュニケーション

が入ってきて、しかも時間数は変わらない状況の中で、生徒たちはスムーズに進んでいくのだろうかと思いました。時代の流れとしては、コミュニケーションを中心として、英語が使えない昨今の現状を何とかしたい、しかも、英語能力自体も下げてはいけないということですので、敢えて申し上げれば、中学校1年生からできるのだろうかという率直な心配があったということです。そのことを考えた時に、開隆堂と東京書籍に絞って検討しました。東京書籍は今までも使用しているし、よくできた教科書だと思います。ただ、あまりにも多岐的で生徒がついて来られるのだろうかとは思いました。できる限りシンプルで一直線に学べる方が良いのではないかと考えました。以上の観点から、敢えて開隆堂を推薦したいと思います。「Scenes」「Think」「Interact」という一連の思考があって、最後にグラマーを持ってくるという流れの繰り返しです。生徒にとっては一直線でわかりやすいのではないかと思いました。今までバラエティとか、多様性を他教科では評価してきましたけれど、英語に関してはどちらかという学びやすい教科書が良いと思い、開隆堂を推薦した次第です。ただ、どの教科書を使用したにしても、英語教育は本当に大丈夫なのだろうかと個人的には心配になった次第です。

池原教育長

ありがとうございます。最後に私からですが、6社とも他国の多様性を尊重する心とコミュニケーション能力の育成を目指しているものでありますが、国語の教科との関連では、東京書籍は日本語との関連から英語について学ぶような資料を掲載し、言葉の豊かな感性と情操を育成、言語力育成の観点から国語との関連を図っている印象を受けました。特に3年生では、俳句を英語で教科書に掲載するなど文化や言語の違いについて考えるものとしている感じを受けています。また、開隆堂、教育出版、三省堂は日本語の物語等を読み、豊かな情操と道徳心を培うものという印象を受けました。啓林館は他教科との関連で落語や物語を扱い、教訓を学ぶなどしている印象を受けました。総合的には、東京書籍が文化や言語の違いについても触れていることから、東京書籍が良いと思いました。

各委員のご発言を伺っておりますと、東京書籍というご意見が多いと思われました。田中委員は他の委員のご意見を聞いて、いかがでしょうか。

田中 委員

もちろんおっしゃるとおりなのは重々承知の上で開隆堂を選びましたので、東京書籍で構いません。ただ、中学校の先生は大変ではないかという印象を持ちました。コミュニケーションを重視すると言っても、高校入試があるので、作文やグラマーがあったり、解釈があったりもするわけで、そこで評価されていく事実は大きく変わらないだろうと思います。理解できる生徒とついて来られなくなってしまいう生徒に明確に分かれてしまわないかと思いました。先生方

にはぜひがんばっていただきたいと思います。

池原教育長

それでは、皆さんのご意見を総合いたしますと、英語の採択すべき教科書は東京書籍というご意見で全員一致しました。

東京書籍を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員

異議なし。

池原教育長

ご異議ないようですので、採択理由を確認するため、暫時休憩いたします。

(休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

英語の採択につきましては、『巻頭に英語を学ぶ意義が掲載されているとともに、幅広い題材を取り上げていることで、生徒が学習への意欲を高め、生涯にわたって学び続ける姿勢を育むことができるような内容になっていること。全学年にUnit 0を位置づけ、第1学年では小学校の学習の振り返り、第2、3学年では前学年のつなかりに配慮した内容構成となっていること。コミュニケーション能力の育成に重点を置きながら、聞く力、読む力、話す力、書く力もバランスよく身に付けられるよう編集されていること。俳句など、日本語との関連から英語について学ぶ資料を掲載し、文化や言語の違いについて学ぶことができるとともに、言葉の豊かな感性と情操を育成するなど、国語科との関連を図りながら言語能力を育成することができるよう工夫されていること。英語学習のポイントやコツを系統的に取り上げる「学び方コーナー」や巻末に「Key sentence・Today's Point 一覧」、「学習をふり返ろう—CAN-DO リスト—」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されていること。』などの理由により、東京書籍を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員

異議なし。

池原教育長

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

次に道徳の審議を行います。

道徳につきましては、7種から採択を行います。

それでは、各委員からご発言願います。藤澤委員お願いします。

藤澤 委員

東京書籍を推薦いたします。表紙では中学生たちが階段を上がっていく様子が描かれていまして、道徳の授業を通して着実に成長して欲しいという思いが表現されていると感じました。巻頭のオリエンテーションでは、考え、議論する道徳の授業の流れが漫画を使って提示されていて、話し合いの手引きも参照できるようになっています。各教材に「つぶやき」欄を設置し、思ったことや考えたことをいつでも書き込めるようになっていて、書き込んだ内容は話し合いの材料として活用できるようになっているのも良いと思いました。

各学年に学期ごとに学習したことを振り返ることができる「自分の学びをふり返ろう」を配置し、自らの道徳性に係る成長を実感したり、新たな課題や目標を持ったりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がされていると思いました。いじめ問題の対応として、いじめの問題対応ユニットと生命尊重ユニットが設定され、いじめ問題と、いのちの大切さについて、多面的・多角的に考えられるように配慮されていると感じました。「ACTION!」では役割演技などを設定し、生徒が主体的に学習に参加できるように配慮されています。巻末付録の「ホワイトボード用紙」「心情円」を活用することで、生徒が積極的に学習に参加できるような工夫もされていました。全ての生徒が学習しやすいようにカラーユニバーサルデザインに配慮するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、QRコードを掲載するなど使用上の便宜が図られていました。今日的な課題の対応として、発達段階に応じて、環境問題や情報モラル、生命倫理、持続可能な社会の形成等についての題材を扱っているのが良いと思いました。全体を通して生徒たちに特定の価値観を押しつけず、物事を多面的・多角的に考えて人間としての生き方について考えを深めていけるような教科書だと思いました。以上の理由から東京書籍を選びました。

池原教育長
塩野谷委員

ありがとうございます。塩野谷委員お願いします。

中学校の道徳は2年前に採択され、昨年から導入されたばかりなので、引き続き同じ教科書が良いと思います。東京書籍を推薦します。以上です。

池原教育長
佐々木委員

ありがとうございます。佐々木委員お願いします。

私も東京書籍を推薦いたします。問いかけが最小限に抑えられていて、東京書籍唯一ではなく、日本文教出版もそうだったのですが、生徒自ら考えるテーマを設定できるよう工夫されているのが良いと思いました。ただし、いじめや生命の尊さに関しては設問が多く、直接書き込めるスペースも広く割かれており、より深く一定の方向性を持った建設的な話し合いができるよう配慮されていました。3年生になると、1年生での自らを見つめる活動からさらに発展し、社会との自分との関わりをより強く意識する内容になっていて、社会科の公民に近いような内容も扱っていてとても良いと思いました。また、読み物の下に「つぶやき」という書き込み欄があり、特にテーマや目的も指定せず、自由に思いつきなどを書き込めるようになっているのも良いと思いました。「ACTION!」では様々な場面・状況を設定して、ロールプレイングによる学習ができるようになっています。冒頭に「話し合いの手引き」があり、他者の意見を尊重しながら、効果的・建設的な議論ができる力を身につけることが目指されていて、1年生「プラス」コーナーでは「探求の対話、P4C」

という対話方法を実践しようというコーナーで、「話し合いの手引き」と併せて、他者との意見を交換する上で、話し合いのスキルを中学生のうちから確実に身につけようとする意欲が感じられ、とても良い作りになっていると思いました。以上の理由から東京書籍を推薦します。

池原教育長
田中 委員

ありがとうございます。田中委員お願いします。

先ほど塩野谷委員もおっしゃられたように、2年前に採択されたばかりですので、東京書籍かなと考えながら読ませていただきました。7社のうちから日本文教出版と東京書籍に絞って検討しました。ここも敢えて日本文教出版を推薦したいと思います。東京書籍はバランスがよく素晴らしい教科書で、道徳という科目の難しさを多様性を滲ませた教材を使用しながら、上手に構成していると思いました。佐々木委員も言われたように、多角的に生徒たちに自ら学ばせていこうという点でも安定感や安心感があると思いましたが、日本文教出版も良いと思いました。道徳という科目はまだ始まったばかりで、どのような形になるかわからない科目を、いろいろな観点から、この教科書を使うことで道徳という科目自体を理解させようという挑戦のようにも感じられました。道徳という科目に、より真剣に真摯に向き合っている印象を受けたわけです。細かいところはいろいろありますけれど、多角的で教材の質もかなり高いものがあったと思います。道徳ノートは使い勝手が良いし、アンガーマネジメントについても載っていました。いろいろな形で道徳を学んでもらおうと思って、日本文教出版を選びました。繰り返しになりますが、2年前に東京書籍が採択されていますので、こだわるつもりはもちろんございません。最後に、北海道新聞で森岡さんという方がお書きになっていましたが、道徳という科目は教師と生徒のぶつかり合い、対話みたいなことで、そこで問われるのは生徒ではなくて、先生になる。森岡さんの言い方でいえば、小学校・中学校のうちからどうやって引き出すのか、それはまさに教師の力にかかってくるという話になるわけです。先生方にぜひ期待したいと思って教科書を読ませていただきました。以上の理由から日本文教出版を推薦します。

池原教育長

ありがとうございます。最後に私ですが、東京書籍は教材やコラムを読んで、その状況に関して自分なりの考え方を持つ視点と自分の考え方を見つめる視点がある印象です。設問がやや具体的で生徒が新しくものを生み出す気持ちを引き出す工夫もあり、また、佐々木委員のお話にもありましたが、ロールプレイングの活動も入っていました。光村図書はそれぞれの教材ごとに、何を考えていくかという「めあて」を明確にした上で、具体的な設問や事例が設定されており、見方を変える具体の質問も用意されているので生徒の気持

ちを引き出しやすく、生徒が自分の気持ちを伝えやすくなる反面、考え方の幅を狭くする場合もあるかもしれないと感じたところです。教育出版、日本文教出版、学研教育みらいは自分を見つめての今後の生き方を考えさせている印象を受けました。また、教育出版はロールプレイングの活動も入っており、日本文教出版では別冊「道徳ノート」において、心の成長を記録したり、話し合いのメモに活用できるほか、ロールプレイングの活動も入っているものとして評価しました。廣済堂あかつきは、設問が光村図書に似ていますが、何を考えていくかという「学習の手がかり」があり、かなり設問が具体的で生徒の気持ちを引き出しやすくなる反面、考え方の幅を狭くする場合もあるかもしれないと感じたところです。また、別冊の「中学生の道徳ノート」は、自分を見つめる、心の成長記録になっていると感じました。日本教科書は教科書のつくりがシンプルで、設問により、教材やコラムの登場人物の思いを想像する視点と関連したテーマで、自分を見つめ振り返る視点が多い印象を持ちました。設問の種類が多くないので、意見が出づらい部分があるかもしれませんが、話し合いによっては、多様な考えを発見し、深い議論ができそうな教材と感じました。ただ、1年生と3年生の教科書を2年生の教科書と比較した場合に、設問のアプローチが異なっており一貫性に欠ける印象を受けました。以上のことから、生徒の自由な発想を引き出す観点と、ある程度話し合う上でのポイントを絞った視点のバランスを考慮して、東京書籍、学研教育みらい、日本文教出版に絞りました。最終的には、学研教育みらい、日本文教出版は自分を見つめての今後の生き方を考えさせており、東京書籍は生きていくために必要なことや創造力といいますか、新しくものを生み出すことを考えさせている点を感じられ、東京書籍、学研教育みらい、日本文教出版の中で、東京書籍が良いと思いました。

各委員のご発言を伺っておりますと、東京書籍というご意見が多いと思われませんが、田中委員からあえてというお話がありましたけれど、いかがでしょうか。

田中 委員
池原教育長

異論はございません。

それでは、皆さんのご意見を総合いたしますと、道徳の採択すべき教科書は東京書籍というご意見で全員一致いたしました。

東京書籍を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
池原教育長

異議なし。

ご異議がないようですので、採択理由を確認するため、暫時休憩いたします。

(休憩)

再開いたします。

ここでお諮りいたします。

道徳の採択につきましては、『冒頭に「話し合いの手引き」があり、他者の意見を尊重しながら効果的・建設的な議論ができる力を身に付けることができるよう工夫されていること。各教材に「つぶやき」欄を設け、自由に思ったことや考えたことを、いつでも書き込めるようになっているとともに、書き込んだ内容は話し合いの材料として活用できるようになっていること。いじめ問題対応ユニットと生命尊重ユニットが設定され、いじめ問題と、いのちの大切さについて、多面的・多角的に考えられるように配慮されていること。体験的な学習については「ACTION!」が配置され、ロールプレイングや役割演技などを通して、学習に参加できるよう配慮されていること。教材やコラムを読んで、自分の考えを持つ視点と自分の考えを見つめる視点があるなど、主体的な学びができるよう工夫されていること。2年前に採択し、昨年度から導入されたことから継続性に配慮したこと。』により、東京書籍を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
池原教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

次に特別支援学級の審議を行います。

特別支援学級の教科用図書につきましては、事務局の説明にあったとおり、これまで知的障害学級における特別の教育課程に対応するため、特別支援学校用（小・中学部）教科書目録に唯一搭載されている文部科学省著作の教科用図書を使用してきたところであります。

ここでお諮りいたします。

特別支援学級の採択につきましては、文部科学省著作の教科用図書を採択することにご異議ありませんか。

各 委 員
池原教育長

異議なし。

ご異議なしと認め、そのように決定いたしました。

他に委員の皆さまから何かございますか。

各 委 員
池原教育長

ありません。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。ここで、暫時休憩いたします。

（休憩）

再開いたします。

ただいま採択しました中学校用教科用図書につきまして、各種目における発行者名及び教科書番号を修正した議案第51号を事務局より皆様のお手元に配布しました。

お諮りいたします。

議案第51号、中学校用教科用図書の採択については、このとおり決定することにご異議ありませんか。

各 委 員

異議なし。

池原教育長

ご異議なしと認め、議案第51号については、そのように決定されました。

以上で議案第51号、中学校用教科用図書の採択についての審議はすべて終了いたしました。

日程第5、報告第18号、教科用図書の採択に係る情報の公表についてを議題といたします。

直ちに説明を求めます。

広瀬 部長

報告第18号、教科用図書の採択に係る情報の公表につきましてご説明いたします。議案書11ページをご覧ください。義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律において、教科書を採択したときは、採択結果及び理由等を公表するよう努めることとされております。このことから、今年度の中学校用教科用図書の採択に係る情報の公表につきましては、採択した教科書発行者名、採択理由、本日の教育委員会会議の会議録、教科用図書選定委員会からの答申書及び調査研究資料などを、遅滞なくホームページで公表したいと考えているところでございます。また、このうち採択した教科書発行者名につきましては、本日の教育委員会会議終了後、準備が整い次第、報道機関へ通知しようと考えているところでございます。説明は以上です。

これらか質疑に入ります。

ありません。

別になければ、質疑を終結し、本件を終了します。

ここで私から一言ご挨拶を申し上げます。

令和3年度から使用いたします教科用図書につきまして、6月の選定委員の委嘱から始まり、約2ヵ月をかけ、本日の教育委員会会議におきまして採択されたところであります。委員の皆様にはこの間、連日にわたり調査・研究を行っていただき、また、本日は採択の審議を慎重かつ適正に進めていただき、大変ご苦労さまでした。帯広の子どもたちのために、より適した教科書の採択に最後までご尽力いただきましたことに心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。

これをもちまして、本日予定されておりました案件はすべて終了いたしました。

以上で令和2年第19回帯広市教育委員会会議を閉会いたします。

池原教育長
各 委 員
池原教育長